

祝 滋 賀 大 学 年 創 立 7 0 周 年

東京 陵水

賀 正
令和2年 元旦
陵水会東京支部役員一同



講堂



陵水会館



正面景観

1面	年頭所感(竹森支部長)
2面	支部総会について
3面	位田滋賀大学長挨拶
5～6面	記念講演要旨
7面	収支報告及び予算書
8～9面	総会出席者感想
10～13面	こんにちは
14～17面	寄稿
18面	情報
19～22面	同好会・同窓会・同期会報告
23～25面	東京陵水文芸
26～27面	年会費納入者一覧
28面	広告・奥付

年頭所感

東京支部長

竹森 二郎

陵水会東京支部の皆様、新年あけましておめでとうございます。会員の皆様が、お健やかに新しい年をお迎えになられたことを、心からお慶び申し上げます。支部長を仰せつかり四回目の新年のご挨拶をさせて頂きま

一方、支部運営の基礎であり、ます年会費の納入に関して、その利便性向上の為に、従前の郵便・銀行振込、銀行引落、総会時の現金納入に加え、コンビニ及びクレジットの支払いも出来るように致しましたので、一層のご支援をお願いする次第です。さて、我が母校・滋賀大学の彦根キャンパスは、データサイ



わらぬご支援、ご協力を賜りお礼申し上げます。昨年7月6日の東京支部総会&懇親会には270名を越す会員の皆様をお迎えし、同窓の作家・矢的竜先生（大18回卒、山本利雄氏）に講演頂き、賑々しく盛会裏に開催できた事をお礼旁々ご報告申し上げます。

エンス学部創設以来、企業はもとより全国の高等学校からも熱い眼差しを向け、連携企業の増加に加え、受験者数の増加（本年度は国立大学で一番多い増加数）として表れております。我々ほとんど全員が卒業した経済学部では、英語での専門科目の授業等グローバル化への先駆的な試みも実施されており、一層の躍進を期待したいと思えます。滋賀大学は、新しく年号が改まった昨年・令和元年に古希を迎え、内外の来賓列席のもと記念祝賀会が開催され、令和5年には彦根高商並びに陵水会設置百歳を迎えます。正に人生百年時代を迎えた今日、会員の皆様共々近未来の百歳を盛大に祝したいと考えています。

令和2年度

支部総会について

水上 康弘 (大32回)

開催概要

日時…令和2年7月4日(土)
午後4時半開始(予定)
会場…上野精養軒
(台東区上野公園内)

来賓ならびに講演…日清紡ホールディングス株式会社 代表取締役社長 村上雅洋氏(大学30回)

○村上社長による講演

2019年3月に日清紡ホールディングス株式会社代表取締役社長に就任されました村上雅洋氏による講演を予定しています。「日清紡」名前は知ってるけど「日清紡」何をやってるかは知らない」という耳に残るCMソングと、犬の二人羽織というユニークな映像は、皆さんご記憶の方が多くと存じます。

当社は、1907年に紡績会社として設立された老舗企業ですが、近年、M&Aなどで大胆な事業再編を進められた結果、現在では、ブレーキ摩擦材、海上無線、気象レーダー、燃料電池部材など幅広い事業を展開さ

れています。村上社長は、長年に亘り経営戦略センターで事業再編を主導してこられました。講演では幅広いご経験を基に、興味深いお話が伺えるものとは是非ご期待下さい。

○今年度総会に際してのお願い
今年度支部総会は、当番幹事3年制へ移行して3年目となります。当番幹事の32回を中心に、



挨拶する水上幹事

前後1年次(31回と33回)のサポート幹事の皆様と緊密に連携して、多くの会員方が交流できる総会を目指します。特に、昨年度幹事の31回の先輩からは、これまで総会運営に携わった諸先輩方の思いの籠った運営要領とともに丁寧な引継ぎを頂きました。心より御礼申し上げます。昨年度の総会には、274名もの多くの会員方が参加いただきました

ました。20歳代から80歳代まで幅広い年齢層の会員方の参加により、活気溢れる総会となりました。総会は色々な経験をされている先輩方と出会えるチャンスです。私自身、先輩方とお話しすると豊富なご経験や高いご見識にいつも感心させられます。

総会では同世代での旧交を温めていただくと共に、異なる世代の先輩にも一歩踏み出して話しかけることで、思いがけない気づきや、明日への活力を得る絶好の機会になると確信しています。

参加者274名

令和元年度東京支部総会

日時…7月6日(土)

午後4時30分

会場…上野精養軒3階桜の間
「オープニング」

グリークラブOBの学歌斉唱から始まり和田博之幹事長(大19回)の開会宣言。竹森二郎支部長(大19回)の開会挨拶と併せて、本日の参加者274名への御礼、位田滋賀大学長、矢的竜氏、小椋陵水会理事長、山田陵水会副理事長、市川陵水会京都支部長の紹介がされた。また今年6月で退職の佐々木陵水会前事務

長への謝礼の言葉。そして会議

ます。世代を超えた交流から更に密度の濃い繋がりが生まれると思われまます。是非多くの皆様がこの場を活かしていただきたいと願っています。

幹事団のメンバーを中心に、ゼミ、クラブ、会社ルートなどから参加を呼び掛けます。若手や女性・新卒会員の皆さんを含め、これまで以上に多様性があり活力ある東京陵水会となるよう総会運営に努めて参ります。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。申し上げております。

資料バッグ内在の、大学公式キヤラクター「カモンちゃん」の説明、今回幹事の劳いの御礼などの後、ご来賓の滋賀大学位田隆一学長より祝辞(別掲)を頂戴した。

【第一部】総会

議長に山本保氏(大15回)を選出。全ての議案第1号議案…平成30年度活動報告並びに収支決算報告・監査報告、第2号議案…令和元年度活動方針並びに収支予算、第3号議案…東京支部規則の一部改訂が異議なく承認された。



「遠がすむ琵琶の湖…」 グリークラブ斉唱

【第二部】講演」と「ここ滋賀」、彦根市の情報発信
「ここ滋賀」副所長の中嶋洋一様(大41回)より滋賀県情報発信拠点「ここ滋賀」(日本橋)の紹介、彦根市企画振興部長の犬井義夫様(大41回)より「彦根の近況とふるさと納税」のご案内。
◆講演は歴史時代小説作家の矢的竜先生(やまとりゅう、大18

回 山本利雄氏)。「作家への道
のりと歴史通説の新解釈」通
説を打破すれば歴史は実に面白
い!」との演題で、通説に囚
われない歴史時代小説をこれか
ら書き続けたい、年に1冊は
新刊を出し続けたいという熱い
思いに参加者一同胸を打たれ、
講演に引き込まれた(詳細後
継)。

また、会場内で矢的竜先
生の著書(合計110冊完売)の販
売&サイン会も催され、大いに
活況を呈した。

【第三部】懇親会

小梶清司理事長(大18回)に
よる来賓祝辞・乾杯のご発声と
共に、活気溢れる懇親会がスタ
ート。暫し歓談の後、昨年同様、
首都圏に就職した10人の新卒会
員(大67回)が登壇し、自己紹
介と共に今後の抱負を力強く述
べた。総会も終盤に差し掛かり、
グリーンクラブOBのリードによ
り「琵琶湖周航の歌」を全員で
声高らかに大合唱した。続いて
恒例となった大31回当番幹事
(藤井登代表)から次年度32回
当番幹事(水上康弘代表)への
「引継式」が執り行われた。蒔
田英一郎氏(大39回、ヨット部)
のエールに続いて彦根高商校歌
を全員で大合唱し昨年同様、箸
方海三氏(大4回)の三本締め

により盛大に幕を閉じた。
《二次会》

舞台を隣の「桐の間」に移し
恒例の「二次会」を今年も実施
した。約100名の会員が引き続き
参加し、懇親の輪はいつまでも
途切れることなく、会場は陵水
会員の溢れんばかりの熱気に包

位田隆一 滋賀大学学長

挨拶 (要旨)



位田学長

皆様こんにちは。学長の位田
でございます。まずは東京支部
総会の開催をお祝い申し上げま
す。私の方は少し時間を頂いて、
今、滋賀大学の現状を少しお話
しをしたいと思います。

今年度は滋賀大学が創立され
てからちょうど70年目にあたり
ます。1949年5月31日に滋
賀大学が新制国立大学として設
立されました。またデータサイ
エンス学部を3年前に創設しま
したが、この4月から大学院デ
ータサイエンス研究科を設置し
ました。これは2年前倒しの設

まれていた。今年も東京支部は
大成功裏に総会&懇親会の幕を
閉じることができた。役員一同
から「皆様から寄せられました
会の運営に対する熱い思いと温
かい労いのお言葉に対しこの場
をお借りして心より感謝しお礼
申し上げます。」の辞があった。

置です。そこで、滋賀大学創立
70周年と大学院データサイエン
ス研究科設置の二つの記念式典
を同時開催しようと、6月1日
に琵琶湖ホテルで式典とそれに
伴う催しを行いました。

午前中は海外の6つの連携大
学及び岡山大学・横浜国立大
学、それと彦根にありますミシ
ガン州立大学連合のそれぞれの
代表の方に来ていただきました
。また今年度から始まる「京
都プログラム」、これはアメリ
カの色々な大学から日本へ留学
生として来て、日本のことも一

般的な学問もやるというプログ
ラムですが、これを主催してい
る CIEE (Council on
International Educational
Exchange) の代表の方にも来
て頂いて、未来の大学のあるべ
き姿を考えるグローバル大学会
議という国際フォーラムを行い
ました。

午後後の記念式典では私が式辞
を述べさせて頂き、データサイ
エンス研究科の竹村学部長兼研
究科長の挨拶、文部科学省から
高等教育局長の伯井美徳様、滋
賀県から副知事の由布和嘉子様
のご祝辞をいただきました。記
念講演は、カーネギーメロン大
学のコンピュータビジョン、マ
ルチメディア、ロボット工学の
専門家である金出武雄先生に
研究者である金出武雄先生に
『面白く、役に立ち、ストリー
ーのある研究開発のすすめ』と
いうお話をさせて頂きました。

夕方に祝賀会を開き、中国の
湖南師範大学の副学長・周俊武
先生から乾杯の音頭をとって
ただいてコマツの大橋徹二会長
からご祝辞を頂きました。その
時にお手元の資料袋に入ってい
るこのカモンちゃんも出演しま
した。

その他の近況をいくつか申し
上げておきたいと思えます。一
つは、週刊誌のAERAにも掲
載されましたが、受験生が昨年
度と比べて1000人以上増え
ました。これは日本の国公立大
学で一番多い増加数で非常に大
きな話題を呼びました。データ
サイエンス学部ができて滋賀大
学のブランドが高くなり、受験

生が昨年
度と比べて1000人以上増え
ました。これは日本の国公立大
学で一番多い増加数で非常に大
きな話題を呼びました。データ
サイエンス学部ができて滋賀大
学のブランドが高くなり、受験

相続税対策・申告、贈与税申告のご相談ならば

税理士法人ファースト会計事務所

法人税・所得税(確定申告)・相続税・贈与税

〒140-0013 東京都品川区南大井6-17-15-401

電話：03-3766-5081 Fax：03-3765-1036 HP：<http://www.tax1st.jp/>



代表社員：公認会計士・税理士 松 澤 進 大学38回・平成2年卒
ウインドサーフィン部第6代主将 会計士同好会昭和63年度会長

生が色々な形で滋賀大学に関心を持ったのではないか。それで受験生が北海道から沖縄までかなり散らばった形で増加し、入学してきています。データサイエンス学部だけが増えたのではなく、人数的には経済学部が一番増えました。その上にデータサイエンス学部も教育学部も増えたということで我々も喜んでいますが、陵水会の皆様にも誇りに思っています。

三つ目は、経済学部も発展を遂げています。特にデータサイエンス学部が出来ましたので文系と理系の融合ということ、「データサイエンス専攻」という課程が経済学部の中にできました。さらに大学のグローバル化ということもあわせて「共創グローバル人材育成コース」も進めています。さらに今年度は、彦根城の世界遺産登録を目指して、彦根商工会議所が寄附講義の形で「世界遺産学」という講義を半年間ですが、前期に始めています。

皆様ご承知の彦根高商時代からの講堂が5年ほど前から耐震強度が足りず使用禁止になっていましたが、文部科学省から必要な予算を認めて頂き改修が始まっています。この6月から工事を始め、順調にいけば来年の4月には完了の予定です。この講堂は登録有形文化財なので外観は変えられませんが、足の不自由な方のためにスロープを付けます。中の講堂もできるだけそのままにします。木造で非常に音響が良いものですから、今後ともコンサートなどに使えます。さらに滋賀大学をご卒業された方が、結婚式・披露宴も講堂でできるようにとも考えております。彦根で勉強されて、結婚式と披露宴を思い出の母校の講堂でやりたいと思われる方がきつとおられますし、そうでない方もあそこでもやりたいという方がきつとおられます。講堂の中の小ホールの部分は、完全にモダンにして、データサイエンスの共同研究室とアクティブラーニングの少し小さい部屋を作ることになっていきます。来年の4月を是非ご期待いただければと思います。

さらに滋賀大学発ベンチャー認定制度を昨年の12月に創設しました。今年1月に教育学部の保健体育と臨床心理の先生方と一人の大学院生が、髪の毛からストレス物質を測定してカウンセリングサービスに結び付けるベンチャー企業を、教育学部キヤンパスを本店所在地にして立ち上げました。先日は経済学部でもアントレプレナーセミナーをやり、起業したい人は滋賀大学がほとんど応援するよという話をしたら、起業を考えているという学生が3人ほど名乗り出てきました。教育学部の理系だけでなく、経済・経営系やデータサイエンスでもベンチャーを立ち上げて産業に繋げるということが出てくることを大いに期待しています。



授受風景



位田学長



小椋理事長



カモンちゃんバッジ



山本議長

最後にお願いがございます。「教育研究支援への寄付金のお願い」というパンフレットが資料袋に入っております。これには「滋賀大学教育研究への支援」と「修学支援事業基金への支援」の2種類がございます。どちらでも結構ですので、諸先輩方の浄財をなにかご寄付を頂ければ、大学として非常に幸いです。

以上で滋賀大学の現況のご報告を申し上げ、また陵水会東京支部の更なる発展と皆様のご健康、ご活躍をお祈りいたしまして、挨拶とさせていただきます。

(文責 編集部)

矢的 竜氏講演(要旨)

作家への道のり

私はサラリーマンとしてはちよつと失格といえますが、転職を6回も経験しています。昭和41年に滋賀大に入学して彦根にいた頃は作家になるとは全然思っていないで、その頃は歴史小説を読むばかりで司馬遼太郎の『竜馬が行く』なんかを読んでいた。池上通信機というTVカメラを作っているメーカーへ35歳の時に転職しました。その頃にプロジェクトの営業をさせられました。私が売り始めた頃は一台600万円という値段でいろんなシステムを組んでいくと1000万円位になる商品でした。この営業を10年位、一生懸命やってもこの分

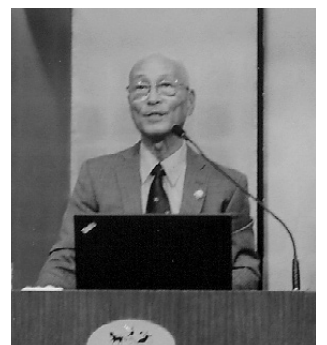
でございます。そのことによって大学もさらにこれから発展させていく力になるということをしております。

野では知名度もなかった会社なので本当に売れないのです。このままではどうしようもないというのでやりだしたのが月次レポートを出すことです。これを3年間36回出しました。3号目位るとき早くも社内ですら「君か? これを出したの!」というくらい衝撃的だったらしく、4回目はこの月次レポートに展示会出展の記事を載せました。一番ヒマな会長が展示会に来て、それを次回のレポートに書く。次は社長が来る、常務が来る。それらを全部次のレポートに書いて部長以上に配る訳です。そうすると非常に楽になりました。こういうことをやるのでお金かかります、と稟議書いてもスツと通るのです。海外視察でアメリカへ行きたいと言えばスツと通るし、どんど

ん稟議は通り、書き物というのはものすごく威力があるな、ということを実感した訳です。これが物書きになる一番のルートだったのではないかと思っております。次のきっかけになったのは自費出版です。ところが自費出版は売れないのですね。当時、そこで止めておけばいいのに細々と原稿を書き始めました。なんと10年間、芽が生まれませんでした。11回最終候補になりました。公募の世界でいい目をするのはナンバー1だけです。最初に出版物になったのが『不切方形一枚折り』という折り紙の話です。これが、九州さが大衆文学賞のやはり2番手で佳作になったのですが、審査員の中で「この素材は短編じゃなくて長編にすべきではないか」と言ってくれた人があり、デビュー作『折り紙大名』で中央公論から出版できました。ようやく10年目にしてデビュー作が出せた訳です。63歳の時でした。彦根に転居して7年ほど経ったころです。

出版不況は自業自得

私は6回も転職したので色々な業界、規模の違う会社、文化の違いなど相当経験してきました



講演中の矢的竜氏

だが、出版業界は未だに理解できない業界です。出してみても分らない、とみんな平気で言うのです。出版社の人間が「これは売れると入れ込んだ本は大體売れない、こんなの売れるかな」という本がヒットします」と平然と言うので唖然としたことがあります。著者がつきあうのは編集者だけです。新刊本を出したら、今月の刊として新聞の下の段の広告にタイトルを並べ、評論家と新聞の書評を担当している文化部などに献本する、それで終わりです。私は作家デビューしたら作品を持って本屋まわりするというような活動を出版社の営業とやるのであるかと思っていました。新聞に広告出しただけで終わりという世界です。最近では文庫本の刊本が山ほど出ています。さら

作っている訳です。しかし私は、本屋はメーカーだと思っていま

定年のない作家稼業

と読んで楽しんで、読み終わったら捨てる。時間つぶしでいいのだという読者層を狙って

んな本を読んだり資料を調べたりします。火縄銃は火薬で鉄砲玉を飛ばしている訳ですから、次に火薬に興味が出て、これから花火に興味に移った。それで『大江戸女花火師伝』という二冊目を書き上げた。それから火薬ですから『椿の海』という小説に繋がりました。火縄銃は滋賀県の国友村が産地の一つですが、そちらにも取材に行ったりして地元の浅井長政とか、その家臣だった磯野員昌、こういうネタを見つけて『光秀の影武者』という小説になった。佐和山の磯野員昌を書いたら、石田三成は書かざるを得ないので『三成最後の賭け』を去年出しました。江戸時代のリストラ、いわゆる改易が盛んに行われ大名が領地を取り上げられて追放されるのですが『折り紙大名』『あっぱれ町奉行江戸を駆ける』という本に繋がってきた訳です。ネタは芋づる式に見つかるものです。「何日で書くの？」という質問をよく受けます。大体2か月位かけます。1か月半でざっと最初の原稿を書き上げ、そこから後が見直し・ブラッシュアップ、それから編集者の意見による追加・削除とか、そういう商品作成のための時間



著書にサイン中の矢的氏

が3か月位とか、出版社によりますが時間を食う訳です。印税について、小説の場合だけを申し上げますと多いのは販売価格の10%、人気作家はもっと高い印税をもらっている人もいます。例えば初版1万部出すと、1万冊分の印税は先払いでくれます。だから8000部売れ残りになっても、もらった印税を返せとは言われません。それは出版社のロスになる訳です。ですから実売数が何部なのかは分からないのです。出版社に聞いても絶対に教えてくれません。業界の中でも実売数は内緒です。

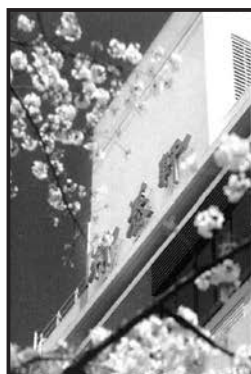
矢的竜の目指す歴史時代小説

私が目指している歴史時代小説ですが、通説に縛られない、

リアリティを持つ歴史解釈を根底に置いています。天才や豪傑はいない、みんなちよぼちよぼでダントツの人間なんていないのだと。私は史実そのものの信頼性を問う、というスタンスを持っていきます。つい先日、老後2千万円問題があり、結局委員会からの報告書はなかったことにするということになったけれど、現代でもそんなことなので、いわんや400年前に書かれた記録が真実であるという保証は何もない訳です。むしろ造られた真実、という風に疑ってかかるのが私のスタンスです。三成はなぜ関ヶ原で潔く自決しなかったのか。洞窟にこもって最後は斬首されるといふ悲惨な最期を辿りますが、百姓の命が何十人であろうと見捨て、また逃げ出す、そして最後まで貫くというのが本来の決心じゃないか。私が立てたストーリーは家康の陰謀を暴くことだったので。秀吉の失敗は朝鮮侵略です。無謀な朝鮮侵略をやって大変な災難を朝鮮と日本に与えた訳ですが、結局それで豊臣家の結束はバラバラになった訳で、その朝鮮侵略を唆のかしたのが家康ではないかというのが私の大前提です。それを基準にストーリー

1を追っていくと、関ヶ原まで16年間、家康の陰謀を阻もうとする三成の暗闘が続く訳ですが、その怨みつらみ・しがらみで、関ヶ原で死んでたまるか、ここで自決したら家康が徹底的に歴史を書き換える、三成はどうしようもない人間にされて永遠に葬られる。そこで最後の賭けに出たと。これネタバレということになるのですが、その辺を誰も書いたり、エピソードにしたことはないと思います。私のオリジナルだと思っています。その辺を念頭に置いて読んで頂くとまた違った面白さがあると思います。関ヶ原で三成は死にますが豊臣家は秀頼が生き残っており、まだ先がある訳です。それが大阪の陣です。ここでは関ヶ原以上に通説はお粗末で、それを全部覆した続編を書いています。皆様は通説を十分ご存じと思いますがそれを否定する、本当かね？ という疑問の眼で見て、当時の出来事の前と後ろ、どんなことがあったのかという辺を眺めながら、自分の仮説を立ててみるということ。をされると、歴史の面白さというものがまた違った形で分かってくると思います。

(文責・編集部)



ご宴会・ご婚礼・出張料理
カフェランランドーレ・グリルフクシマ



軒 養 精 野 五

〒110-8715 東京都台東区上野公園 4番58号
TEL 03-3821-2181(代) FAX 03-3822-1330
<http://www.seiyoken.co.jp> 年未年始以外年中無休



平成30年度収支報告

●財産目録（単位円・以下同じ）			
現金	20,555		
普通預金	1,896,470	運営費	162,630
郵便預金	681,452	広報活動費	60,000
定期預金	1,060,000	編集費	150,000
合計	3,658,477	交通費	1,460
●貸借対照表			
借方		事務用品費	22,007
現金預金	2,598,477	雑費	48,540
基本金引当	1,060,000	次年度繰越	1,866,477
合計	3,658,477	計	5,849,618
貸方		収入の部：実績	
前受金	732,000（注1）	年会費収入	1,521,000
基本金	1,060,000	総会会費収入	1,991,000
繰越金	1,866,477	寄付金収入	89,000
合計	3,658,477	新聞広告収入	240,000
		本部活動助成金収入	147,700
（注1）前受金：翌年度の年会費受入 244人分		雑収入	11,030
		前年度繰越金	1,849,888
		計	5,849,618
●収支計算書			
支出の部：実績		（注1）年会費500名達成 （注2）総会参加者300名達成（来賓等を含む） （注3）寄付金残 （注4）広告協力者2社増加達成	
総会費	2,561,199		
印刷費	376,184		
通信費	601,121		

令和元年度収支予算書

収入の部			
年会費収入（注1）	1,500,000		
総会会費収入（注2）	2,300,000	編集費	150,000
寄付金収入	150,000	交通費	50,000
新聞広告収入	240,000	事務用品費	25,000
本部活動助成金収入	146,800	雑費	50,000
雑収入	5,000	次年度繰越	1,893,277
前年度繰越金	1,866,477	合計	6,208,277
計	6,208,277	（注1）年会費500名維持 （注2）総会参加者300名維持 （注3）消費税引上げ等を見込む （注4）諸手数料引上げ等を見込む	
支出の部			
総会費	2,700,000		
印刷費	410,000（注3）		
通信費	630,000（注4）		
運営費	200,000		
広報活動費	100,000		

総会出席者感想

東京支部総会で

新入会員が思ったこと

梶原 孝明 (大67)

総会では若くして活躍されている方々や多くの苦難を乗り越えられてきた熟練の方々とお話

してきて、様々な発見と刺激にあふれる機会となりました。その中で、世代がバラバラでも共通の志のようなものが根付いているように感じました。時代は流れても、同じ校舎で過ごし触れてきた近江商人の信条が自然と浸透しているのでしょうか。また、晴れて社会人となったゼミの面々とスーツ姿で言葉を交わすのも、なかなか新鮮で面白いものでした。

実は、まだまだ卒業したという実感も薄く、新しい環境で分からないことや覚えることに囲まれて、どうにも地に足がつかないような心持ちの日々に揺らいでいました。

しかし、心強い先輩方の激励に背中を押され、これから前向きに頑張る決意ができました。先輩方が持たれていた、確かな経験に裏付けられた自信を働きながら少しずつ身に付けていけたらと思います。

陵水会の結束力を感じました

伊集院 蝶子 (大67)

この度は、陵水会・東京支部総会に参加させて頂き、誠にありがとうございました。貴重な機会を頂いたことに對し、この場を借りて御礼申し上げます。今回は、舞台上で自己紹介の

時間を設けていただいたり、皆様と個別にお話する時間も多くなりました。緊張しすぎる事なく素敵な時間を過ごすことができたのは、同じ土地で学生時代を過ごした仲間として、私たちを温かく迎え入れて頂いた先輩方のおかげだと感じております。また、先輩方の仕事に対する考え方なども聞くことができ、社会人1年目として多くの学びと刺激を得ることもできました。

滋賀大学を卒業された今でも、業界や年齢の垣根を越えた交流が続いている、そんな歴史ある会に参加させて頂き、陵水会の結束力を肌で感じる事ができました。現在は彦根を離れ東京で勤務しておりますが、私もこのような人との繋がりを大切に、精進して参ります。大変ありがとうございます。

陵水会で良い繋がり

四方 榛貴 (大67)

私は7月の陵水会東京支部総会と6月に開催された新卒のOBの歓迎会に参加させて頂きました。これらに参加して私

が感じたことは大きく2つあります。まず1つ目は陵水会に加入したことでも良い繋がりを得られたことです。私は今回の会に参加する前は知らない人ばかりの集まりに飛び込んで行くことに不安を感じていました。しかし、陵水会の方々は私を快く受け入れて下さりました。共通点が滋賀大学を卒業したことだけに温かく受け入れて下さったことに感銘を受けました。

2つ目は滋賀大学のOBの方々が多方面で活躍されていることです。陵水会東京支部総会では私達社会人1年目のOBのために名刺交換の機会を設けて下さいました。その際に多くの方と名刺交換させて頂いたとき、OBの方々が様々な業種、企業で重要な役職に就き活躍されていることを知りました。その時、自分が滋賀大学の卒業生であることを誇りに思いました。



ヨット部のエール



新入会員の皆様



同期の仲間と



仲間と乾杯

令和元年度

支部総会を振り返って

当番幹事

藤井 登 (大31回)

昨年7月の第一土曜日(7月6日)年号が変わり初の支部総会が、24名の参加者により上野精養軒にて無事開催することができました。ご参加の皆様、支部役員はじめご協力いただきました皆様様に心より御礼申し上げます。

一昨年当番幹事を引き継いでから総会のコンセプトを決める時に我々は、300名を超えた前年を踏まえて量より質を願い「繋がる陵水会」という新機軸を打ち出しました。

具体的な方策としては、初めてテーブルを出身県毎に囲むという試みに挑戦しました。いかがでしたでしょうか。彦根と同郷という2つの接点で交わりがあった方々が繋がる、新しい出会いが一つでもあれば企画をした我々もうれしい限りです。当日の進行スケジュールで1分でも多く懇親の時間を取りたいと苦心しました。

今回の講演者は大18回山本利雄氏(作家矢的竜先生)にお願

いしました。我々の身近、陵水会のOBに歴史小説家がおられたというのも驚きでしたが、サラリーマンから60歳を超えて作家デビューを果たすなんて、何とチャレンジ精神溢れる方なのかと思えました。私の還暦なんてまだまだ若いと再認識させられました。

小説の題材は身近なところにある、リストラから大名の改易に膨らませたり、火縄銃から明智光秀、石田光成の物語に発展させたりするなんてまさにダイナミック、新幹線で彦根を通過するとき左に見える佐和山城跡



グリーンクラブの合唱

に歴史を感じながら西に向かう方も多いと思います。

矢的竜先生には講演後にミニサイン会を行っていただきました。本の特別価格販売はもちろんのこと、1冊1冊丁寧にサインをして頂き購入者は大変良い記念になったと思われま

す。また、短いやり取りの中で、歴史的に興味のある人物を題材にお願いする方など読者と直に触れる機会となりお互いに刺激しあったこともありました。115冊を完売するなど想定以上のミニサイン会となりました。

位田学長のお話も大変興味深いものでした。データサイエン



挨拶する藤井幹事

ス学部創設から何かと注目を浴びる我が大学ですが、企業との連携も相当な数に上っているとお聞きし、わが母校が各産業に役立っているというのは目を見張るものがありました。

このほか、今年2回目のご滋賀の販売や彦根市のふるさと納税のお願いなど恒例のイベントも行われ、今年も活気あふれる同窓会となりました。

最後に、一昨年より導入された当番幹事3年制について御礼申し上げます。我々がプレ当番幹事となった2年前から大30回の先輩にはいろいろ教えていただきました。きちんと整理された引き継ぎ資料、そのまま使える各進行管理表などどれだけ時間の節約になったことか、これが伝統というものなのでしょう。

また、同期集めに苦勞した我々は最後に受付の一部を大30回の方にお手伝いいただいたのですが、甘えさせていただいた下地を役員の方々に作っていただけたことを感謝いたします。

同期一同、至らない点が多かったと思いますが良い経験をさせていただきました。これから陵水会を応援させていただきます。ありがとうございました。



クレド アドバイザーズ株式会社

代表取締役社長 門平 孝二郎 (大19回)

〒113-0034 東京都文京区湯島 2 - 4 - 3 - 403

TEL 03-6303-2455 FAX 03-6303-2456

E-mail : credo-ad@biscuit.ocn.ne.jp

こんにちは

村上 雅洋氏 (大30回)

(むらかみ まさひろ)

日清紡ホールディング株式会社
社・代表取締役社長

■滋賀大学入学まで

——本日はお忙しいところ、ありがとうございます。滋賀大学前の故郷のお話しなどから聞かせて頂けますか？

村上 出身は大阪です。大阪の天満というすぐい下町で育ちました。本当にコテコテの大阪人間なんです。よく言うんですが、大阪の小学校に入ったら1+1+2を習う前にボケとツッコミを習うんですね。中学、高校まではバスケットやっていました。高校は北野高校で今年ノーベル賞を受賞された吉野彰さんも先輩ですが、高校時代もろくすっぽ勉強もせずにクラブに一生懸命を出していました。家が天満にあつて中学校が桜ノ宮で川向いはホテル街でした。高校は北野ですから十三です。十三はホテル街と飲み屋街なんです。そういうこともあるのかもしませんが何見ても驚かないというか、そういう所で育てきました。

——滋賀大に入学された動機は？

村上 私が受験したのは共通一次試験が始まる前の年でした。一浪していたので、翌年の受験は十分調べた訳ではなく一学期はここ、二期校は滋賀大と決まってしまうんですね。滋賀大がどこにあるのかも初めは分かっていたいなかったんです、大津だと思っていたんですね。ふと見たら彦根、えらい遠いなー。



■大学時代

村上 通えると思っていたので下宿は考えていなかったんです。それで出遅れて下宿探しても良い所はもう全然ない訳です。やっと平田という自動車教習所のある所で大学からはかなり遠いですがそこを借りました。

——クラブは何をやられていま

したか。

村上 ハンドボールです。中学、高校とバスケットをやっていたからバスケかなと思つたんですが、この身長だとやはり体育会のバスケットだどうしようもなかったですね。それでバスケットやってきて応用が利く競技は何かなということでもハンドボールへ行つた。ところが入部してからしまったというのが分かりました。バスケットボールは体が当たつたらファウルで普通はケガしない。ところがハンドボールは体を当てるのが当たり前で格闘技的な所がある激しいスポーツなんです、ケガばかりしていました。かなり戸惑いましたけれど始めたならやる訳にはいかないの、やるしかないと言つて4回生までやりました。

——大学生活はどうでしたか？

村上 要領はよかつたので三年間で卒業に必要な単位は一応全部そろえて4回生のときは経済英語とゼミだけという割と楽な生活を送っていました。好きな授業は出ていきましたが、家庭的に裕福じゃないですからバイトで稼がないと暮らしていけない：クラブやってバイトやっての繰り返しでしたね。

■ハンドボール部の思い出

村上 クラブは東海リーグの二部でした。レギュラーになるのは大変でしたが、3回生の秋のリーグ戦から自分たちがリーグシップをとりました。ところがリーグ戦全敗で三部との入替戦になったんですね。そりゃもう生きた心地しなかつたです。全敗でただでさえきついのに入替戦で落ちたら先輩から何言われるか、というのがあるじゃないですか。入替戦は何とか勝つて二部に残留し、次の4回生の春のリーグ戦はなんと二部で優勝したんです。

——へエー、何で？ 1回生に強力なメンバーが入ってきたとか？

村上 いや、それはないです。メンバーはそんなに変わってないですよ。ところがやっぱり地獄を味わうと強くなるんですね。

——落ちる所まで落ちたから？

村上 そう、もう本当に瀬戸際まで行って何とか這い上がって来た。となるとやっぱりタフになつてくるんですね。見事全勝で一部へ上がるかと思つたら、一部はレベルが全然違つた、入替戦はボロ負けで、アー終わった、ということになつたんで

すが、二部で全勝したよりも全敗して下と入替戦で勝つた時の喜びの方が大きかったです。これで負けて下へ落ちたらどうするんだ、頭丸めるだけでは済まないぞ。このプレッシャーが強かつたので喜びもそっちの方が大きく、二部で優勝した時は一部へ行けるかなとフワツとした喜びだったですね。人間はやっぱりつらい時の方がいいんだというのがよく分かりました。

■日清紡へ就職

村上 昔、能登川に日清紡の工場があつてそこでアルバイトをしていたんです。工場の中に通信制の短大があり、そこに通っている女子従業員の家庭教師みたいなものです。通信制ですから自分で勉強するんですが、短大なので経済学あり、英語ありで、個別指導の塾みたいなものですね。私、ゼミが進藤先生なんです。それで、先生方がそのちよつとした授業を請け負つておられたんです。進藤先生は日清紡という会社が好きだったので、お前アルバイトで教えてこいと。しばらく能登川へ通つていたら就職の時期になり、先生がお前は何やりたーい？ と聞かれるものですか、私メーカーへ行きたい、金

融とか商社は結構ですと言ったんです。そしたら、先生がどうか、メーカーか？ それなら日清紡へ行きなさい。それでハイッと言って、それじゃ明日面接行つてきなさい。と言われ、ま

ず工場長と面接し、次に東京へ行つたんです。あまり勉強してなかつたので、東京で一次面接

の時きつちり言われました。君ちよつと勉強しないといくら体育会といつてもこれじゃまずい

よ、明日の最終面接の前に神田の本屋へ行つて本買ってきて勉強しなさい！ それで本買って

きて、一夜漬けで就職面接の勉強する奴もいるのかと思ひながら勉強して合格しました。

——よく考えて会社を選ばれた訳じゃなかつたんですね。

村上 繊維だということとは分かつていました、大阪にいましたので東洋紡、鐘紡は分かりませんが日清紡は東京の会社なのでよく知らなかつたです。

当時も華々しい会社があつて受けようと思えば受けられたのですが、進藤先生は勧めなかつたですね。この会社を先生が好

きだつたのは何かというと、少数精鋭だと。社員数は多いので

すが現業が主体で大卒、今でいう総合職は少数しかおらず幹部

候補生として入れるということ

と、学閥がないから滋賀大でもある程度の所まで行ける。堅い

会社だから潰れない。それで行ってこいと言われて入つた訳です。

■人事系の仕事からスタート
——最初はという部署でしたか。

村上 志望は繊維の営業、ところが配属先は工場の勤労です。

普通はそこで採用や給与計算と

思いますね。ところが、紡績工場は中卒の女子従業員をたくさん採用して中に通信制の高等学校

校を持つているんです。全寮制で100人から400人位の女子従業員

がいるのですがその学校の運営責任者兼寮の運営責任者で、女子寮の事務所が勤務地です。2

つの工場で八年近くやりま

が、彼女達の勤務と暮らしをつぶさに見てすごいなあと思ひましたね。自分は大学を卒業して

管理者みたいな仕事しているけど彼女らの頑張りをみると大変だなあとという思いと、毎日事件や事故が起こるのもういい加減にしるよという、そんな生活を

採用活動をするのですがなかなか来ていただけません。——何故ですか？
村上 勤務だけじゃなくて工場の中の学校へ進学する仕組みが大変だということもありますし、紡績ですか？ と言われる訳ですね。他にも仕事ありますからね。勤務地が遠いとか色々あつてそれはそれでまたいい経験にはなつたのですが、人を探用するというのは難しいね、と言ひながら工場の労務管理を卒業しました。その後本社の人事部へ転勤した訳です。入社以来人事系の仕事を二十年近くやってきました。

■新事業の立ち上げと撤退

村上 その後、本社人事部から

千葉の研究所に転勤になり、そこで人事の仕事もあるけど、バ

イオテクノロジ事業を立ち上げてくれと言われ、修士クラス

のバイオ専門家が大量いる所へ何も知らない事務屋が行つた訳

です。自分が事業トップとして

何もないところからスタートし、全てやらないければなら

ない。MBA(経営学修士)の世

界を実地でいくようなものでしたね。事業計画、戦略、マーケティング等々をまず勉強して実

際にやつてみて、試行錯誤しながらも最終的にはビジネスの形

を創りました。北海道大学から九州大学まで

行き、色々な食品会社へ行つて

ネタ探しをし、日清紡製のDNAチップを製造、販売しました。しかしマーケティングは大きくならず、事業パートナーも探してやつたのですが、日清紡の主要じゃないということ、バイオ事業は譲渡して撤退しました。事業のストラクチャーを創る、お客様からのクレーム対応をする

等が大きな学習でしたが事業としては失敗でした。でも自分にとってはすごく良い勉強になりました。
■社長(CEO)へ
村上 その後、再び本社へ転勤

し今度は人事じゃなく、総務本

部秘書部長です。秘書はやりた

くないなあと思ひながら来たん

ですが、会社の経営方針、さらに会社をチェンジしていくとい

うことを自分が考える訳です。これまでとは全然違う次元の頭

の使い方が始まりました。そう

している内にすぐ法務へ行け、

次は経理へ行け、ファイナンス

やれ。次は戦略やれ、その次に

社長をやれ……。間接部門を全部

回つて、今こういう形になりました。
——グルーッと回つたというのは社長になるための勉強の期間

だったかもしれないね。
村上 必要なことを全部やらせてもらったかもしれない。長

村上 そのことをよく聞かれますが、足元が弱っている成長戦略につき込む資金が出てこないよ、と言い始めました。すごく綺麗な計画作っても自分の腹に落ちなかったら人は動きません。成程！と思った途端に皆動き始めるから結果が出るんですね。さっきお話しした公私の区別は会社の理念なんです。至誠一貫とか真面目にやるというのがこの会社のいい所でそれは失われない。ちょっと真面目が過ぎる所もありましたが、今の時代はちよどそれ位でいいんですね。これだけコンプライアンスという時代ですから真面目で困ることはない。悪いことしたら絶対お叱りを受けるけれど良いことをしても中々褒めてもらえないと言われまして、どちらかと言うと守りが強い会社ですね。

村上 百数十年続く伝統ある会社のトップになられ、もう少し肩肘張られても思ったのですが非常にリラククスされていて。秘訣はどこにあるのでしょうか。

村上 自分が偉い訳ではないので、コミュニケーションは気を配っています。社長室はありますが常時開けて、社長室に人を



呼び込むことはまずありません。用事があつたら自分から行きます。秘書には一応行き先は言いますけれど、行った先に相手がいなかつたら帰ってくればいい訳です。そうでないと裸の王様になります。情報は現場からは中々上がってきません。

■事業の買収と売却

村上 2006年位から事業を変えると言い始めて、1990年に50パーセント占めていた繊維事業が現在は10パーセントしかありません。この十年間に日清紡グループは環境・エネルギー・安心安全をキーワードに事業を多様化させてきてグローバル化も進み、従業員も25,000人の内、半分以上は日本人じゃないんですね。秘書の時にこういう風に変える仕事をしていた。ここからファイナ

ンス、経営戦略と回って社長やれと言われて、ハイと言ったのは自分で既にチェンジをやつて来ていたからです。社長になって、これまで自分が描いてきたビジョンを自分で仕上げていくということをやつていく訳です。今は「事業の選択と集中」ではなく「事業の見極めと見切り」と言っていますね。結構厳しいことをやらなければならぬ。買収をどんどんしてきましてが事業譲渡もかなりしています。

村上 紙事業で吸水力が2倍のトイレトペーパー、今エリエールから出てますけど日清紡の製品だったんです。2017年に大王製紙に事業売却しました。2006年当時からこの事業は場合によっては譲渡、売却すると決めていました。何故か

という、紙の業界は王子製紙、日本製紙、大王製紙など大手が大半のシェアを占めており日清紡の紙市場でのシェアは1〜2パーセントしかありません。特長ある商品で評判はいいのですが、その事業にいる人は幸せでしょうか？ シェアが小さすぎて日清紡では維持投資しかな

α⁺ ALPHA PLUS CO., LTD.

代表取締役 **岡本幸博** (大25回)

株式会社 アルファプラス

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-37-8 白鳥ハイツ206号

TEL (03) 5474-0593 FAX (03) 5474-0594

携帯電話 090-3220-0595 E-mail : okamoto@alpha-plus.co.jp

新規にがんばるぞという投資は全部凍結されるんですね。ここにいたら紙事業は衰退していく訳です。それよりも積極的に投資をしてくれる所に身を寄せて主役で頑張れる方がいいでしょう。日清紡はエレクトロニクス、無線通信を主として環境・エネルギーカンパニーを目指すという以上、紙事業にお金は回ってこない。それで大王製紙からオファーがあり、行った途端に投資ですよ。商品がいいから積極的に投資してどんどんな商品になる。従業員は、初めは大分反対しましたが、丁寧に大王製紙へ行った方がよいと説明しました。それで行った方が良かったね、となった訳です。絶対嫌だという人もいますが客観的に見たら良かったと、それだと思っ

うんですね。

——買われた事業は？

村上 富士通の子会社の一部門を買いました。富士通にいたら何もしてもらえなくてほぼ死に体だったのですが、日清紡に来たらエース候補になれそうな事業を買って投資する。リコーから半導体の会社を買いました。リコーでは殆ど投資がなかったけれど日清紡に来たら投資が始まり、すごくやる気を出す。事

業が良いとか悪いとかというところではなく、どこに属するかによって良くも悪くもなる訳です。自分達が一番活躍できる所に身を寄せるのがその事業に携わる人にとっても幸せだと思っ

てですね。会社が変わると多少は労働条件が良くなったり悪くなったりしますが長い目でみると期待されている所に行った方がよいということでも売ったり買ったりしています。

——いわゆるM&A（合併・買収）で事業構造を変えられてきた訳ですが、どんなところが大変ですか。

村上 実際に成就するM&Aの十倍くらい成立しない案件があり、候補となる事業は普段からリストを作っています。仲介業者、アドバイザーや相手先が持つて来られる案件は基本的には乗らない。持って来られるというのは大体何かあるんですね。検討はする、というのは業界情報が取れるから。成長事業領域を買うのがM&Aの目的ですからターゲットは絞られるのですが、巡り合わせがあります。よい買物で絶対いいんだけど、資金がないタイミングで出てきたら買えないとか、本当に出会いとタイミングに左右されるとこ

ろが大きいですね。

——新しく加わった会社、部門というのとは全く違う企業文化で育ったものですね。そのまま伸ばすのか、それとも日清紡流に変えていくのですか。

村上 共有して欲しいのは経営理念だけです。日清紡流というのはあるのかなと思うんですが、多様性が大切で同質化したらいノベーションは起こりません。多様性があるからイノベーションが必要はない。守ってほしいのは何かという事業活動を通じて社会に貢献する、日清紡は環境・エネルギーカンパニーだよ、真面目にやっつてね…これだけ外さないでと言って事業の中心には口を出さないんです。投資はする、口は出さない、ただし成果如何で責任は問います。

■社会への向き合い

——御社のコマージュナル、私は非常に好きなのですが、ああいうCMを作れと言われたのは社長ですか。

村上 犬が二人羽織を着て演じるCMですね。あれは大学生のリクルート用だったんです。あのCMで社名を知ってもらいたい、ネットでエントリしてもらって掛けです。まず社名を知っても

らいたい時に、事業をいちいち説明していても仕方がないし、大体繊維の会社と思われているからなかなか見てもくれませ

ん。見た一瞬に印象に残るものを作ってみようといつてあのCMが出来たんです。どこが前と違いかと言ったら、取締役会でCMの内容を諮るのをやめました。60才過ぎた方々がいいねというCM流して若い学生が来るわけではないですね。我々が気を付けているのは人権の問題です。こういう立場の人が見たらこれ嫌だろうな、とか一般論ではなく色んな視点から評価して、ちょっとこれは誤解を生むかもしれないというのは全部排除して残ったのがあのCMです。

——御社は取締役の任期が一年になっていきますね。

村上 昔は二年任期が多かったのですが、今は一年任期の会社が増えています。コーポレートガバナンスの関係もあるんですが、株主・ファンは取締役選任議案に賛成か反対でしか彼らの意思表示ができない訳です。その場を一年に一回設けるといふことですね。業績に不満だったら社長にノー、会社の方針に不満だったら取締役にノー、と意思表示する場です。株主至上主義というのはだいたい揺り戻しが来ていますが、会社の持ち主は株主ですね。しかし会社は株主のためだけのものではない。顧客、従業員、取引先等のためのもので。こういうステークホルダーを大事にし、利益をあげたら株主にリターンするんですね。

——御社のCSR（企業の社会的責任）ですが、資料等を拝見して元々近江商人の「三方よし」という考えが入っていると思います。

村上 まさに「三方よし」が大事で、CSRは後からきたものです。「世間よし」がそのままCSRだと昔から話していました。今、日清紡はCSRもさる



ことながらESG（環境、社会、ガバナンス）とSDGs（持続可能な開発目標、通称「グローバル・ゴールズ」）。2015年8月国連サミットで採択された国際目標。貧困に終止符を打ち、地球を保護し、すべての人が平和と豊かさを享受できるようにすることを目指す普遍的な行動の呼びかけ）にも積極的に取り組んでいます。

■滋賀大・陵水会への思い
村上 滋賀大のデータサイエンス学部はよく始められましたね。——大学院もこの4月にできました。

村上 私達のビジネスでもそこから先はAIを使わないと答えが出ないところが多くあります。多くのデータを集めるところまではできるようになっていきますが、それをどう分析して事業にもつていくかというのは答えが出ないですね。これからはこういうデータ分析やAIのリテラシがないと会社の中でやっていくのが辛くなるかもしれません。当社でも来年の新社員からはAIの基礎的なレクチャを研修の中に取り入れていきます。事務系の人間でもある程度のは分かるようにしていき、技術系はもっとハイレベル



などところを目指します。当社でも今春からこういうことを始めなければならぬという現実感に差し迫ったものになってきました。それを先んじて学部でやっているというのは英断でしたね。それで滋賀大の卒業生がいرونな所で活躍いただけたりもつと滋賀大も良くなると思っております。また、陵水会がこれだけネットワークを作り、またレールを引いてもらっているの、後はどれだけ中堅どころの我々みたいに無関心でいた会員に關心を持ってもらうかだと思います。——本日はお忙しいところ貴重なお話をいただき、ありがとうございます。ございました。

寄稿

わが人生、思い出の断片

小森 清美（大8）

人生八十年を超え、思い起すこともたちまちに消えてゆきます。「東京陵水」の編集部から私が母校経済学部から国家公務員に進んだのは珍しく、いろいろと動機付けになるからと寄稿を強く求められたので、思い出すままに半生をメモしました。

●滋賀大に進学した動機

私の郷里は岐阜市ですが、昭和二十年代半ばに、旧山縣郡の小村（岩野田村）から岐阜市に合併した純農村であり、村のほとんどが農家で無医村でした。そこで私は他村にあった寺を祖父が再興した小寺院の家に、小学校教員を勤める父の長男に生まれました。檀家もない寺で農業をしながら生活していました。当然のことながら将来の後継ぎとして予定されていました。県立長良高校在学中から家の束縛から離れ自由な生き方を夢想していました。偶然に十歳歳の弟（小学校の校長を務めた後住職を継ぐ）が生まれ、祖父、

両親も私の後継ぎを半ばあきらめたのか、名古屋大学と岐阜大学の受験を認めてくれました。岐阜大学に一年間通学しました。が、将来教員となる定め所より、家族から離れた自由な生き方を希望する思い立ちがたく、

下宿に住まう必要となる滋賀大に進みました。当時岐阜大学の教員であった母方の叔父（旧陸軍士官学校出身）の同僚で彦根出身の方から下宿を紹介いただき、中藪町、彦根西高校に隣接した下宿で四年間を過ごしました。同宿者には柏敬造さん（大6回）、田中嘉博さん（大7回）が居られました。

●大学四年間の思い出

当時はアルバイト先もなく、奨学金と乏しい仕送りの他には収入がありませんでした。課外活動の尺八部と柔道部の練習、それに小田茂さん（大6回・元神戸製鋼副社長）主宰の「近経読書会」への参加が主な余暇活動でした。これらの活動を真剣に行えば大変な時間が必要でしたが、おざなりでやり過ごしていました。しかし、小田さんの読書会で経済学の基本を教えられ、これを契機に理解は不十分でしたがケインズの「一般理論」や、卒業後まで引きずり

自分の進路については前述の叔父に相談したところ、滋賀大卒業なら、高尚な理論経済学よりも、実用的な知識が評価されるであろうから、会計学のほうがよいという意見でしたので、その意見に従い岡本ゼミを選ぶ



若者らしい運動と言えば、富士登山とその周辺でのキャンプ、北海道一周の大旅行等でしを担いで、同期の松井宏、田中克典、小島章、田中耕三郎の諸君との思い出が豊かです。

●岡本ゼミ

自分の進路については前述の叔父に相談したところ、滋賀大卒業なら、高尚な理論経済学よりも、実用的な知識が評価されるであろうから、会計学のほうがよいという意見でしたので、その意見に従い岡本ゼミを選ぶ

ことにしました。(因みに岡本先生は岐阜大学に在職されたこともありました)。ゼミでは、ペイトン・リトルトンの「会社会計基準序説」(中島省吾訳)をテキストに勉強しました。簿記の実務も知識もないので、十分な理解はできませんでしたが、何とか卒業させてもらいました。同じゼミの市川哲三君と原書をタイプして交換しながら頑張ったことも印象に残っています。

●農水省に就職

力試しのつもりで何の準備もなく受検した公務員上級試験に合格してしまいました。合格すると、当時は各省からの面接採用試験の案内が来ますが、たまたま叔父と相談して、農林省建設省に決めて面接を受け、先に農林省の採用決定となり、建設省は面接で一通りの質問の後、「君は既に農林省に決まっているのだから」といわれ相手にされませんでした。他に会社の面接が残ってしまいましたが断りの電話を入れました。

●農水省に勤務して

農林水産省は現在、大臣官房(総括部門、国際部、統計部)のほか、五局(消費、安全、食料産業、生産、経営、農村振興)、二外局(林野庁、水産庁)、技術会議からなっています。事務職は、各局を転々と移動しますが、私も、林野庁、農蚕園芸局(現生産局)官房、水産庁、さらに経済企画庁、総理府(現総務庁)、さらに地方農政局等と転任し、五十歳で退職しました。その後関係団体に再就職し、最後は「公益社団法人」国土緑化推進機構(全国植樹祭、全国育樹祭の主催団体)で六十五歳まで勤め、完全退職しました。

この長い勤務の間に教えられたことは、農林水産行政は、国民の食糧を安定的に供給すること、および森林資源、水産資源の維持保全をすることであり、それは、農山漁村の人々に、健全な生活と活発な生産活動があること、可能になるといってこず、食料の安定供給は、国内生産の確保、自給率の向上はもとより、国民経済の成長により、十分な外資を保有すること

●終わりに

彦根は私の心の青春のふるさとです。生れた土地、生家の束縛を離れ自由と独立の希望をもつて、お金はありませんが大学の授業、友人との自由な交流、多方面の書物の乱読などを通して、試行錯誤して、悩みながら生活した四年間は、正しく青春時代でした。芹川や琵琶湖岸の松原、彦根城の桜、下宿の部屋、冬の銭湯、屋台のラーメン屋などの情景が臉に蘇ってきます。明日に向かって希望と活力を養っていた充実した時代を思い起こしています。

した。東京陵水会の総会で講演された矢的竜氏の言葉を借りれば私は小説家を名乗っても差し支えない様だ。小説を描く事になったのは思いがけない事から始まった。三年前、郷里姫路にて初恋の人に会えるかもと淡い期待で参加した中学の同窓会、そこで耳にしたのは山一証券に勤めた学友のM氏が五千万円(現在なら約一億円)を横領し時効まで七年間逃亡した話だった。帰りの新幹線の中でM氏のことを小説として描いてみたい衝動に駆られた。M氏と親交のあった大阪在住で同じく学友の梶師吉行氏宅に伺いノンフィクション小説の了解と取材を行った。通常犯罪を犯した人とは付き合いたくないのが人情だが最後まで友としてM氏との友情を貫いた梶師氏の姿に私は感動を覚えた。

まず起承転結を大見出しで決める。次に骨組みに沿って小見出しを設定、後は取材、記憶、創作力を駆使して小見出しに該当する文章を描いてゆく。私は堰を切った様に描き始めほぼ二ヶ月で処女作「さらば愛しき友よ」を描き終えた。

小説を描く愉しさ

丸居 裕(大14)

退職後、暇に任せて三年半で五冊の小説を出版してしまいました



Heart Tree ハートツリー株式会社

代表取締役 服部 進 (大37回)

〒106-0046 東京都港区元麻布3-10-4 Re-Flat 303

電話：03-6804-2545 FAX：03-6893-3344

ホームページ <http://heart-tree.com/> メール：info@heart-tree.com

業務内容

- ・和楽器演奏家の派遣。
 - ・映画「うみやまあひだ」のプロデュース。
 - ・環境に優しい企業ノベルティの販売。
- お気軽にご連絡ください。

かどうかだ。私はこれ迄の読書歴からして自分が面白かったものを今度は自分が作家としてそれを実現してみようと思ったのです。これは実に愉しい試みでした。その為に幾つか工夫を凝らした。

まず適宜写真を挿入してノンフィクション小説に拘った。「どうせ創り物だろう」と言う意識が根底にあるのと違ってノンフィクションは迫真に迫る一味違うものがあるからだ。更に小説の面白味は「次どうなるんだろう？」と息をつく間もないテンポの良いストーリー展開です。これは横領と逃亡という犯罪小説の筋立てが功を奏した。仕上げは感動的な予想外の結末にした。

出版社に原稿を送ってみると歯の浮く様な書評が返ってきた。それは私に自分の書籍が書店に並ぶかも知れないという幻想を抱かせてしまうに充分であった。だが百万単位のお金が必要と分かりネットでの書き込みを見ると出版社に乗せられて大損をして訴訟になっている人がいる。知名度のない私の小説が売れる訳はないと思えば直し公募を見て文学賞に応募する事にした。更にそれを親戚や友人に配

る「ボランティア小説」として自費出版にした。そこで探し出したのが自費出版専門の「お手軽出版」だった。200頁10冊で約十八万円、校正は全て自分が行うがこれなら正にお手軽出版だ。出来上がった書籍が届いた

時私は感動で心が震えました。お送りした方々からの感想は私の想像を超えるものでした。特に滋賀大同期の中で読書家である中村弘氏、古川浩司氏、加藤博善氏からは称賛と次回も期待しているとの激励のコメントに私は舞い上がってしまったのです。二作目は滋賀大での寮生活、ヨット部活動や恥かしさと甘酸っぱくもほろ苦さが同居した彼女との恋愛を描いた「青春忘れもの」です。私をモデルにした主人公を「中井悠」と名づけた。自分であって自分でない主人公が小説に登場し私のペンで活躍する。不思議な感覚でした。純粹で直向きであった青春のノスタルジアに浸ることが出来た。

ここ迄くると私の小説欲は留まることを知りません。少年時代、青春時代の次は仕事人生でした。ある読者から「自分史もはどうしても自慢話になってしまいがちで読者は辟易しますよ」とアドバイスを頂き極力有

りの俣に自分を飾らず失敗や苦悩をストレートに表現する様に努めた。

日本コロムビアに入社した私は四十五歳迄順風満帆、だが取引先の倒産で子会社へ左遷、二度に亘る戦力外通告を受け五十歳で就活。アライ電機のオーナーと運命的な出会い。五年後オーナーが脳梗塞で倒れオーナーから副社長として長男で今度と懇願され世の中が一変する。新社長と共にエクセレントカンパニーを目指し完全燃焼してリタイアした。

そんな私の波乱万丈の仕事人生を主人公に重ね合わせ『仕事とは？』を問いかけるビジネスロマン小説「夢は荒野を駆け巡る」を上梓した。有難い事に毎回、読者から口頭・電話・メール・手紙で感想を頂きファンレターを貰った心境になる。嬉しかったのはヨット部の先輩で今も世話をされている北野悟氏が「人生の指針になる」とこの書籍と「青春忘れもの」をヨット部に寄贈し現役部員に回読を勧めて頂いた事だ。この様に読者からの激励が間違いなく私に小説を描かせる原動力となった。感謝で一杯である。

第四作「フェアウェイの懲りない面々」は私を始めゴルフに憑りつかれた人々の直向きで滑稽とも思える姿、ゴルフアーナラ誰でもあるある話をエッセイ風小説として発表した。滋賀大同期生とのゴルフ交流や東京陵水のゴルフ会で活躍された故井口博民氏を永遠のゴルフアーとして紹介させて貰った。

人生のゴールが見え隠れするの摂理とかを考えてしまうものです。最終作品は娯楽ものでなく骨のある文芸作品で締め括りたいと思い『境遇とどう向き合って生きるか？』をテーマにした私の自伝的小説「そして、私は父になる」が完成した。

女房からは「身内の事や他人様の事をあれこれ描いてそれを送りつけるなんて信じられない」と非難ごうごう。それはその通りだなと思いつつ「後5年か10年の命、僕の好きな様にさせてくれ」と強行突破してこの作品は陽の目をみただです。

1962年入学、山本重雄氏・大学時代その人がちょうど徳聖寮の寮長で、私が副寮長でした。とても尊敬していました。山本さんがコロムビアに就職し、是非こいと誘われて私もコロムビアに就職しました。私は音楽が好きですし、グリークラブの先輩等、滋賀大の先輩もコロムビアでは役員をやったりしていたこともあって、行ったわけです。

■山本さんの逝去

実は山本さん今年2019年5月28日78歳でなくなられました。先日、山本さんの大学空手部の後輩で、福井で保険業を経営している谷尾清隆さんと墓前に線香を上げにお訪ねしました。山本さんは学生時代から続いていた「剛柔流空手道」を生涯続け仕事をかたわら道場も開いていました。全日本空手連盟公認七段の資格をもつていらつしゃいました。数年前旭日賞を受賞

を見ながらお元気だった当時を思い出しました。山本さん、谷尾さん、私の共通点は音楽・コロムビアに務めたことです。その夕方谷尾さんと会社時代、大学時代の思い出話に花が咲きました。山本重雄先輩は経営者と

理念の時代に生きる

進化経営学院代表

黒田 悦司 (大15)

■グリークラブから
日本コロムビアへ

しても空手道の指導者としても、正に文武両道の偉丈夫でした。

理念を探究し12月に制定、創業しました。一年後霞ヶ浦に天命舎という研修センターを建てました。天命舎という意味は人間には天命がある。天命を探究する学舎ということですね。以来25年、40数社(名)の人生理念、企業理念を制定しました。

■企業生活・企業変革の試み

「経営進化」経営ということの目的は、お金をもうけることではない。本来、資本主義は資本の増殖を目的としているわけではありません。しかし、世の中は経済至上主義になっているのが現状です。私達は理念に基づき新しい和道経営・理念経営をやろうということなのです。

■一般社団法人進化経営学院建設・創設の辞

2005年には、一般社団法人進化経営学院を設立し研修棟も新たに建設しました。創設の辞は、逆境練機、転原自在、経営進化、互惠共栄ということなのです。

■「逆境練機」というのはこう

いうことですね。世の中は理不尽だと思われれる事に幾度か出逢うことがあります。逆境というのは、神がくれた大切な試練だ。逆境は自分の試練、鍛え、練磨する機会であると言う意味です。別の言い方をすると、「逆境は、神の恩寵的試練なり」。

■理念を制定して創業・天命舎

「転原自在」、転原ということとは、転ずる原(もと)、です。転ずる原は、自分のなかにある

1994年3月に退社して、

という事です。どんな状況でも「状況を変えていく原」というのは、「自分にある」ということですね。それが、転原自在。「経営進化」経営ということ

「互惠共栄」というのは、関係する人たち、すべてが、自分たちがお互いに喜びを感じる、恵み合う関係をつくらうということなのです。お客様、社員、同業者、社会、協力業者、関係する人達みんなが喜ぶ関係を築く仕事をしようということなのです。

理想とか、経営は甘くないと感じる方もいらつしやるでしょうが、私はそういう生き方を選択しました。

今も現役で仕事をしています。

川崎 憲夫(大17)

世の中仏像ブームらしい。有名な仏師や名のある寺院の仏像展が開催されると、会場はいつも満員の盛況である。

サラリーマン生活を終え、自由な時間をどう使おうか思案しているときに、ふとしたきっかけから始めた仏像彫刻も七年になります。

「器用不器用は関係ない。一生懸命彫った仏さんは立派な仏さん。」有名な仏師のこの言葉を救いとして仏像に向きあっています。

材料の木材は、多くは檜を使いますが、教室の先生(仏師)に彫りたい仏像の下絵をもとに発注します。寺社で目にする仏像の多くは寄木造ですが、我々が作る仏像は高さが一尺前後です。ので一木から彫っていきま

教室は月二回、先生の指導を受けながら約二時間、それ以外は自宅での自習が中心となりますが、彫り始めの頃は大量の木屑が発生し、衣服についた木屑が家中に散乱するのが難点。

一体の仏像を彫り上げるまでに光背、台座を含めると約半年から十ヶ月くらい。これまでに

積迦如来や聖観音菩薩、不動明王、毘沙門天など十体ほど彫つてきましたが、難しいのは仏像のお顔。如来や菩薩などはまさに仏様の顔、優しく慈悲深い顔に彫り上げる必要がありますが、不動明王や毘沙門天などは逆に怒りの表情に仕上げなければならず、いまだに思うようなお顔を彫り上げることができていません。

毎年、先生が主宰する仏像彫刻教室合同の作品展があり、仏師と変わらぬ技量を持った先輩の作品に囲まれると、まだまだ修行が足りないことを痛感しますが、仏像彫刻に向きあっている時は無の境地に近く、時間の経過を忘れず。

始めた際に、確たる動機があったわけではありませんが、続いているとその奥深さと楽しさが徐々にわかってきて、継続は力なりを信じ、これからも地道に続けていこうと思つています。



川崎さんの力作

滋賀大学能楽部(旧謡曲部) OB会活動等の紹介

関谷 善哉(大15)

滋賀大学能楽部(旧謡曲部)の第10回OB会が、西は広島、東は埼玉、千葉県から出席のOB各氏45名を集めて、令和元年6月15日に、長浜市の中川能舞台にて盛大に開催されました。

中川能舞台とは、私たちが滋賀大在学中に謡、仕舞などを教えて下さった中川清(翁)先生、その後継者中川雅章(若)先生のご自宅の中に築かれた能舞台です。

第10回能楽部OB会は、13時から16時にかけて行われ、ここでは「鶴亀」、「竹生島」、「羽衣」等々の連吟、また「敦盛」、「安宅」、「高砂」等々の仕舞など合わせて24番が滋賀大能楽部OB諸氏から、次から次へと休む間もなく披露されました。

なお、終了後、長浜市内にて行われた懇親会は、和やかに、また楽しく盛大なものでありました。

滋賀大能楽部(謡曲部)は、滋賀大学9回から滋賀大学36回(1961年〜1988年)まで存在し(以降は廃部)、その

OB会の会員数は、会員名簿上は274名を数えられるが、現在の確実な会員数は約160名と思われ

ます。(約160名)OB会総会の案内状を出しているのが約160名)

平成4年第1回OB会から本年令和元年第10回OB会までの28年間に10回のOB会が開催されてきました。

開催場所は、第4回(平成15年開催)と第10回(令和元年開催)の2回が長浜市の中川先生宅の中川能舞台であり、これ以外の8回のOB会は、いずれも彦根城博物館能楽堂でした。

彦根城博物館能楽堂は、私の滋賀大在学中(昭和38年〜昭和42年)には、彦根護国神社にあり、風雨にさらされかなり傷んでおりました。

その能楽堂を神社建物内に移築した際には、それまでほとんど使用されておらずかなり傷んでいた能舞台を、私たち滋賀大能楽部員全員が総出できれいに清掃しました。掃き掃除、埃取り、乾いた雑巾での乾拭き、さらに「米ぬか」を綿の袋に入れ、そこからしみ出る油で舞台を何度も何度も拭き清め、白足袋を

はいて能を舞うことができる状態にしたのは、滋賀大学能楽部

員の私たちでした。(昭和40年頃)

最後に「名古屋楽浪会」と東京地区の活動を紹介します。名古屋楽浪会(名古屋サザナミカイ)とは、愛知県、岐阜県に在住する滋賀大謡曲部OBで構成される、いわば滋賀大謡曲部名古屋OB会です。

現在は大学10回卒から同15回卒のOB9名で構成されています。毎月、名古屋市のナディアパーク7階の部屋を借りて月例会が開かれています。全9名のうち、6〜7名が常時(毎月)出席しています。13時から16時30分にかけて、素謡、連吟(たまには仕舞)などを行っており、謡を楽しむこともさりながら、滋賀大在学中の仲間たちと会い、旧交を温めることが主目的であるような愉快で楽しい会であります。

東京地区での活動は、大22〜26回卒の8名を中心に、2007年6月から謡と仕舞を稽古しています。年に4回程

度、神戸から観世流能楽師の先生に東京に来て頂き、稽古を付けてもらっています。その他に、自主練習や、飲み会を、適宜、やっております。未だ現役で謡や仕舞を習う時間の無い大27回卒以降のOBとは、飲み会を通じて、友好を深めています。昨年7月の陵水会東京支部総会では、能楽部OBが年次幹事を含めて、15名出席し、存在感を示しました。能楽部OB総会は、2年に一回の開催ですが、大27回〜36回卒の方々の出席者を増やしたいと思っています。



連吟風景

母校「ユース

○大学院データサイエンス研究科

・開設の予定・計画
修士課程 2019年4月開設(2020年4月に博士前期課程へ名称変更予定)

博士後期課程 2020年4月開設予定

・定員・修士課程
博士前期課程 20名
博士後期課程 3名

人材育成の方向として複数分野の領域知識をもち、方法論とデータをつなぎ、価値を生み出す人材を育てたい。具体的には、「領域の課題を見つけ、データを取得し、モデルを決め、最適化法を選び、分析結果を解釈してわかりやすく伝え、意思決定に活かせる」一貫通貫型の人材である。

更に育成の到達目標として、修士課程では既製のモデルを使いこなすだけでなく、課題とデータに合わせて特別仕様のモデルを自ら立て、分析を行うことができ、価値を創造できるレベル。

博士(データサイエンス)過程ではデータサイエンスに関する新たな基盤技術を生み出し、

新たな価値創造の「場」の開拓につなげることが出来る能力の獲得にある。

力量を高めることが重要である。本研究科の教育プログラムでは、様々な領域における実課題での実践が重視されている。進路や就職先の想定は次のとおりである。

- ・銀行や保険会社などでのデータコンサルタント、データアナリスト。IT企業での製品開発、機械学習エンジニア
- ・製造業での製品開発、品質管理担当

- ・広告代理店、総合商社でのアカウントマネジャー、マーケティング担当

- ・製菓メーカー、大学病院での臨床統計専門家
- ・官公庁のデータアナリスト

また博士前期課程の場合は博士後期課程進学の希望もある。



研究棟

滋賀県アンテナショップ「ここ滋賀」への招待

好評放映中のNHK連続テレビ小説「スカーレット」、令和2年1月から放送されているNHK大河ドラマ「麒麟がくる」のNHKの2大ドラマコンテンツのゆかりの地「滋賀県」が熱い。この滋賀県の魅力を堪能できるスポットがある。場所は、東海道の起点、江戸の商人の街にして、今も近江商人が興した企業が多数軒を連ねる日本橋。そんな日本橋交差点の角地にある「ここ滋賀」を訪れた。

「ここ滋賀」は、平成29年10月にオープンした滋賀県運営のアンテナショップ。首都圏において滋賀県の自然や歴史・文化、食やモノなどの魅力を紹介するための情報発信拠点だ。

丸紅株式会社本社のある東京日本橋タワーの敷地内に独立した形の2階建ての施設（屋上テラスあり）が丸ごと「ここ滋賀」のスペースである。1階は、滋賀県産の米や加工食品、地酒、信楽焼などの伝統工芸品のマーケット、2階は滋賀県産の食材をふんだんに使用した料理を提供する和食レストランとなっている。



日本橋「ここ滋賀」

マーケットでは、約1,000商品を扱い、売上金額の上位には赤こんにゃくや鮎寿司といった滋賀県ならではの食品が並んでいる。商品レイアウトは、季節やその時々話題性、売れ筋などを踏まえて臨機応変に変更し、お客様のニーズに合わせて売り上げの向上を図っている。

提供されている。メニューの「滋賀の地酒 飲み比べ」(¥1,000)を選べば、4種類の蔵から選択し、飲み比べをすることができる。酒の肴のメニューも滋賀の名産をつまみにして楽しむことができる。ちなみに、この地酒バーを利用すると、地酒スタンプラリーのマップが発行され、楽しみが増える。このマップは店でキープしてもらうことも可能で、マップを持っていない時でもちよつとした時間に立ち寄ることができる。

2階には、和食レストランの「日本橋 滋乃味」があり、このメニューの7割は滋賀県産の食材を使っているとのこと。ランチ営業では「一汁三菜 定食」や「滋賀の一汁三十三品目膳」など健康長寿県ならではのメニューが人気。このほか、夜のダイナー営業や土日祝日のカフェ営業(14時~17時)も行っており、いつでも滋賀の食を楽しむことができる。

この他、ほぼ毎日のように滋賀の魅力伝えるイベント・フェアが催されており、様々な角度から滋賀県の魅力を発信している。また、ホームページはちろんのこと、フェイスブックなどのSNSを活用した情報発

信も積極的に行っている。是非、チェックしてほしい。

「ここ滋賀」には徹底的な滋賀へのこだわりを感じる。県のアンテナショップであることから、当然ではあるが、2階レストランだけでなく、椅子やインテリアには県産材を使用するなど、商品だけでなく、内装にも県産品を使用するという徹底ぶりである。店内の設置やコンセントを含め、従来の「自治体主導の土産物店」というイメージを変える新たなアンテナショップの形態と言えるかもしれない。

今回、取材に応じて頂いたのは、「ここ滋賀」副所長の中嶋洋一氏(大41)。本年度7月6日に開催された陵水会東京支部総会において「ここ滋賀」のPRを熱心にされていたのが印象的だった。卒業後、間もなくして、平成7年に滋賀県庁に入庁、市町村振興やエネルギー政策といった業務を経て、今年の4月から現職。

「まず、「ここ滋賀」に来て頂き、滋賀の特産品などに触れて下さい。その上で、陵水会員が滋賀の語り部、滋賀を応援するサポーターとして魅力を発信し

て欲しい。母校の地への貢献の
 第一歩として『滋賀県』と『こ
 こ滋賀』のPRをお願いしま
 す。」とのこと。

【住所】東京都中央区日本橋2
 ー7ー1
 (編集部)



東京陵水ゴルフ会

(第114回〜第117回)

この一年間も金乃台カントリー
 ークラブで、好天の下、熱戦が
 繰り広げられました。

この1年間、ベテランと中
 堅の選手が複数回目の優勝をさ
 れました。田川選手の81歳での
 ベスグロ優勝は特筆されます。

新鋭小野選手が希望の初優勝を
 飾り、グロスでのアンダーパーが
 期待されます。今年度も2名の
 若手新規の参加者がありました。

【各回の戦績・優勝者はじめ飛
 賞も含めた賞金獲得者名は下記
 の通りです】

第114回大会 入大15回山本
 保選手、5回目の優勝▽

2018年12月18日 5組18名

成績(賞金獲得者)(卒年)

ネットスコア(ハンディキャップ)

優勝：山本 保(大15) 63(34)

- | | | | | | | | | | | | |
|----------------------|---------------------|----------------------|----------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------|-----------------|------------|-------------|-----------------|----|
| 準優勝：木戸 彪(大19) 64(40) | 3 位：松浦幸作(大8) 68(34) | 4 位：平井俊雄(大12) 69(24) | 5 位：佐藤秀孝(大10) 73(27) | 10 位：守谷貞夫(大12) 77(40) | 14 位：岡本和之(大17) 81(17) | BB賞：中村 弘(大14) 83(24) | ベスグロ：能島(大22) 86 | ドラコン：川崎・田口 | ドラ短：柴田茂夫・守谷 | ニアピン：平居2・柴田(吉)2 | 能島 |
|----------------------|---------------------|----------------------|----------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------|-----------------|------------|-------------|-----------------|----|

- | | | | | | |
|---|----------------|------------|-----------|----------------|----|
| 【アクセス】東京メトロ・都営
地下鉄「日本橋駅」B6、B
8出口から直ぐ。JR「東京
駅」八重洲北口から徒歩6分 | ベスグロ：田川(大9) 84 | ドラコン：竹森・中岡 | ドラ短：守谷・蔵田 | ニアピン：松浦・田川・中村2 | 田口 |
|---|----------------|------------|-----------|----------------|----|
- 第115回大会 入大9回田川
 行雄▽
 2019年4月18日 6組20名
- 成績(賞金獲得者)(卒年)
- ネットスコア(ハンディキャップ)
- 優勝：田川行雄(大9) 72(12)
- 準優勝：佐藤秀孝(大10) 74(27)
- 3 位：中村 弘(大14) 74(27)
- 4 位：田口良三(大23) 74(24)
- 5 位：竹森二郎(大18) 76(9)
- 10 位：岡本和之(大17) 83(17)
- 15 位：田村寿夫(大12) 90(25)
- BB賞：蔵田昭憲(大17) 107(26)

- 第116回大会 入大18回小野
 孝史選手、ベスグロ優勝▽
 2019年6月12日 6組22名
- 成績(賞金獲得者)(卒年)
- ネットスコア(ハンディキャップ)
- 優勝：小野孝史(大19) 69(6)
- 準優勝：西坂徹雄(大9) 71(29)
- 3 位：柴田吉典(大19) 71(15)
- 4 位：川崎憲夫(大17) 72(11)
- 6 位：田口良三(大19) 73(24)
- 10 位：能島伸夫(大22) 77(10)
- 16 位：丸居 裕(大14) 80(24)
- BB賞：高見政史(大26) 93(10)
- ベスグロ：小野(大19) 75
- ドラコン：鶴見・田口
- ドラ短：松浦・平居
- ニアピン：松浦・平井・鶴見・
 田口
- 第117回大会 入大12回平居
 俊雄選手4回目の優勝▽
 2019年9月3日 5組19名
- 成績(賞金獲得者)(卒年)
- ネットスコア(ハンディキャップ)
- 優勝：平居敏夫(大12) 67(24)
- 準優勝：竹森二郎(大19) 67(9)
- 3 位：今津松男(大18) 67(26)

【新規参加希望の皆様へ、
 新規会員大歓迎!】

氏名・住所・☎番号・生年月
 日・卒業回・所属ゼミ・部活・
 ハンディキャップを下記メール
 アドレスにご連絡下さい。

山本 保：

yattax_888@jcom.zaq.ne.jp

田口良三：

fwnx8165@mb.infoweb.ne.jp

(山本 保 記)



全員で校歌を合唱



金乃台カントリークラブ

支配人 足立原 孝文

〒300-1211 茨城県牛久市柏田町3432
 TEL 029-872-0182 FAX 029-872-3182
 ホームページ http://www.kinnodai.com

“すべてのプレーヤーが楽しめるゴルフ場”
 『今年も皆様のご来場をお待ちしております』

東京陵水会囲碁会便り

令和元年囲碁大会の実績を報告します。

令和元年(平成31年) 陵水散歩会

●平成31年1月29日(火)
「港区七福神初詣」

コース…増上寺…宝珠院…熊野神社…十番稲荷神社…大法寺…水川神社…桜田神社…天祖神社…久國神社…溜池山王駅

現地に立てば建物やささやかな森林に江戸の昔の雰囲気を感じる。七福神の社寺。正月の賑わいは無かった。参加7人

●平成31年2月26日(火)
「三寒四温季の曾我梅林」

コース…国府津駅…光明寺…宝金剛寺…一徳寺…田島横穴古墳群…見晴台…法連寺…二宮尊徳遺髪塚…中河原梅林…下曾我駅

凡そ3万5千本の紅白梅が野山に麗香を充滿させている広大な梅園。梅の木の種類も紅梅、白加賀、南高などと豊富。有形文化財保有の寺院、歴史上の人物の遺蹟を訪ねる。参加8人。

●平成31年3月29日(火)
「目黒通りの桜と界限名所」

コース…芸芸大学駅…碑文谷公園…桜通り…サレジオ教会…碑文谷八幡宮と名主屋敷…円融寺…清水公園…林試の森…目黒不動尊…中目黒駅。

桜花爛漫の樹下を仰ぎながら

●令和元年6月25日(火)

「八王子城に登る」

コース…高尾駅…八王子城ガイダンス棟…金子曲輪…御主殿跡…虎口…曳橋…大手門…御主殿の滝…城主北条氏…その家臣の墓所…八幡神社…高尾駅。

管理棟でガイド氏が付き添う。城主の住居跡の御主殿跡とその周囲の見学が主体。殆どの旧蹟は土から掘り出したもの。整備の努力を痛感する。深い森と滝の音。気持ちよい涼風。参加6人

●令和元年7月29日(月)
「水元公園と柴又散歩」

コース…金町駅…水元公園…公園散策…江戸川桜土手…サイクリングロード…矢切の渡し…山本亭…柴又帝釈天…柴又駅。

江戸川の支流小合川の溜りを開発した遊水公園。森林も植樹も広く、水辺も施設も豊かに備えられていた。桜土手から矢切の渡しは天日に無防備。矢切の渡しは風のため川止め。門前町の夕べの賑わいに和んだ。参加8人

●令和元年9月24日(火)
「中央線中野駅界限」

コース…桃園川沿道…明徳稲荷神社…宝泉寺…宮前橋…水川神社…東中野銀座…寺町通…紅葉山公園…中野駅。

●令和元年6月15日(土)

全国情報サービス産業厚生年金基金会館にて開催

11名参加

戦績
優勝 寺沢 優 二段(大16)

準優勝 神崎栄次 六段(大3)

3位 聖成崇夫 八段(大17)

戦績
優勝 鈴木克治 八段(大14)

準優勝 水引芳雄 六段(大2)

3位 中沢龍彦 七段(大10)

囲碁大会は6月と11月の第3土曜日、年に2回開催しております。新しい参加者、大歓迎です。

左記までご連絡下さい。

幹事 鈴木 克治
電話 04-7115-7371
携帯 090-5539-6848

鈴木克治(大14)記



ジャパン SHIPPING サービス株式会社

代表取締役 武田吉史 (大30回)

〒105-0004 東京都港区新橋 2-5-5 新橋 2丁目 MTビル 7階
TEL: 03-3580-7733(代) 03-3580-0711(直通)
Fax: 03-3580-7737 URL <http://www.jship.co.jp>
E-mail: info@jship.co.jp(会社) yoshi-takeda@jship.co.jp



小諸城門前



碑文谷公園

桃園川沿道近くに中也の旧宅跡がある。宝仙寺はもと中野区を中心。いまでは有名人の葬儀会場。寺町は早稲田通りに面して江戸末期から明治にかけて多くの寺が集まって出来た。河竹黙阿弥、新井白石などの墓前を拜む。紅葉山には中野区文化センター。参加7人

5) 富永義孝(大7) 小森清美(大8) 林史欣(大8) 宮野幸雄(大12) 平居俊雄(大12) 天木國夫(大14) 吉田勇夫(大15) 渡辺雅利(大16) 脇阪守(大21) 能島伸夫(大22) 脇昌之(大52) 鞆止泰子(特)

★毎月最終火曜日、十三時からスタートで開催しています。参加希望者には、ご連絡あり次第直近の予定をご案内します。

また、右の卒回以外の方のお申し込みは、新陵教場長(大12)堀内和042-488-5280へお申し込みください。

2019年度有田会を開催

近藤 達也(大12回)

●令和元年10月29日(火)〜30日(水)

「佐久春日温泉と小諸の旅」

10月30日「ホテルルビの恐都堀川」で2019年度(第58回目)の有田会が開催されました。

会には24名が出席しました。恒例の講演は有田会幹事長の市村仁氏(大6回)による「姫路城と池田輝政」と題する姫路城の戦

コース・新宿バスタ〜佐久平駅〜春日温泉望月荘(宿泊)〜小諸駅〜小諸宿文化財建築物〜小諸城大手門〜懐古園(城内見学)〜小諸駅〜新宿バスタ。

林 史欣(大8) 記

なお、各会員の卒業年度別代表者は以下の通りですから、入会希望者は電話をください。

2019年度有田会を開催

小雨に霞む佐久平を進み宿泊。宴会が盛り上がる。小諸では観光協会のガイドを依頼。北

この詩吟の会は、岳精流日本吟院の千代田岳精会に所属します。

(大7) 浦谷政夫049-261-5508、(大9) 西坂徹雄03-3392-3126、

の懇親会では今後の有田会についての意見交換も行いました。

国街道筋に残された由緒ある建築物を数件まわり、大手門経由で懐古園に。園内案内を楽しみ、

この詳細が紹介されていますから検索下さい。

(大13) 小林三郎03-5451-2208、(大15) 吉田勇夫、

翌31日は名勝「無鄰菴」(近代日本庭園の傑作)を散策、南禅寺境内にある料亭で湯豆腐を

小山敬三美術館等を見学。充実した年1回の旅。参加7人。

現在、陵水会員が所属している教場は3教場ですが、入会はお住まいや職場の所在地により、好みの教場が選べます。

(大16) 柴田豊彦042-748-6114、(大18) 小梶清司045-373-1634、

いたなき解散しました。

●令和元年12月3日(火)

「等々力溪谷と九品仏」

(大19) 竹森二郎0422-48-2117、(大20) 青木美

来年は2004年に亡くならた有田正三先生の十七回忌に当たります。そこで次回有田会は

コース・五島美術館〜上野毛自然公園〜野毛大塚古墳〜等々力

3教場は、新宿の新陵教場(陵水会員15名)、新宿の東陽町教場(陵水会員3名を加えて27

憲04-7176-1307、

2020年10月20日、今回と同じホテルで開催し、21日は先生

溪谷〜九品仏浄真寺〜自由が丘。参加7人

※平成31年〜令和元年の参加者

03-5936-8350、(大27) 岩崎博之03-5387-0588。

加が期待されます。

久木義雄(大5) 中川郁三(大

水会員15名)、新宿の東陽町教場(陵水会員3名を加えて27

04793、(大22) 能島伸夫

東京陵水会計人会新年会

岡田 憲治 (大18)

東京陵水会計人会新年会を平成31年1月17日、新宿西新宿「すし屋銀蔵」にて開催しました。

今年の新年会は9名が集まりました。参加者は星出潔(大13) 岡田憲治(大18) 長井和夫(大22) 御旅屋尚文(大24) 久野康成(大37) 松澤進(大38) 北尾聡子(大45) 木村繁(大46) 笠浪真(大48)の皆様です。高木早苗(本24) 稲野辺敬義(大19) 深田睦子(大26) 上田信子(大29) 稲葉隆博(大48)の皆様は、残念ながら、ご都合により参加できませんでした。



会計人会新年会にて

今年も久野さんから自作の日めくりカレンダー「The Daily Kuno 2019」365日有給休暇」

を出席者全員に贈呈していただきました。毎朝、和文と英文による Insight and Motivation を楽しみにしています。

また、松澤さんから知人作成資料「新・事業承継税制はどう変わったか?」の提供がありました。

公認会計士事務所長、税理士事務所長、社外監査役、団体監事、監査法人所属公認会計士等の皆様から近況報告と共に貴重な話が聞けて、今年も有意義で楽しく美味しい充実した新年会でした。

東京陵水 文芸

俳句・短歌・漢詩・絵

俳句

中川 郁三 (大5)

千曲川濁流滾る台風過

台風十九号による多数の堤防決壊。二十日ほど過ぎても轟轟たる濁流の音が古城の石垣を駆け上がる。

臥す稲の黄金輝く遠浅間

稲刈りを終えた田には稲架や藁干しが並ぶ。随所に残る倒された稲田は朝日に映えて燃えるような金色に輝いている。

秋雨や馬事公苑に馬ふたつ

佐久市望月の馬事公苑は折からの雨で休業中。やってくる観光客のためか二頭の馬が所在無げにつながれていた。

詩碑に聴く草笛かすれ小六月

小諸懐古園。藤村の千曲川旅情の歌の歌碑にボタンを押せば草笛が曲を奏でる。鄙びた草笛の音が旅情をそそる。

墨絵なす妙義嶺忽と初紅葉

高速バスで佐久方面への道中。突然左手に雲中の妙義嶺が浮かび上がる。水墨画の世界。麓には紅葉を始めた木々。

能島 伸夫 (大22)

以下の句は、いずれも令和元年十一月二十九日、三十日の陵水散歩会「信州佐久・小諸の旅」で作句したものである。

藤村も嘆かん千曲川(ちくま)の秋出水

千曲川は台風の影響で藤村の

千曲川とはまるで違った轟音の様相が残っておりました。

出汁(だし)そばをすすり喉秋の昼

懐古園内にある蕎麦屋の出汁そばは、さっぱりとして実にうまかった。天気も回復し、青空も現れました。

照紅葉威光を放つ天守台

今は残っていない天守閣の石垣の側に紅葉が陽に照らされていますが、逆にその光が城からのライトアップとなっているからかのようにでした。

林 史欣 (大8)

堀超えて稔る柿の実戴けり

我が家との境に隣家の柿木がたわわに実を付けている。奥さんがどうぞと赤い実を持ってきてた。

炬燵まで届く夕陽や秋眠し

夕方になってほんやりとしていたら部屋の奥まで陽が入ってきた。

喪中だと悲しや筆の墨の濃さ

喪中挨拶の文字がくつきりとしていて、送ってきた人の気持ちを想う。

白い人即売リングにかじりつき

ふるさとのからのリング即売の手伝いをしていたら、リングを買った外人がその場でかぶりついた。

銀杏散つて邦生の語り幕を閉じ

「銀杏散り止まず」の著者辻邦生が世を去って数年。生まれ故郷山梨から始まる先祖探しの物語が銀杏の黄色と併せて印象に残った。

東京陵水令和2年

短歌20首

浦谷 政夫 (大7)

枇杷の葉を葉にせんと持ち帰れる女の袋破れてぬたり

いつの間に生えしか枇杷の芽の伸びて小鉢に二本尺を超えたり

柿の実の黄に色づきて枝しなり折れやせぬかとけさも眺むる

甘柿より渋柿よしと皆のいふ甘柿たやすく購へるゆゑか

臭き虫米まで食ひて百姓を困らせをりて今も敵なる

いなごとふ米食む虫を食ふ人を
羨みてをりその都人を

蝦蟇なるか蟻といはんかげーげ
ーと湖畔に啼きたるその声か
なしき

蜀黍を南蛮といひて食したる十
五の夏ははるかなる過去

日本一ただのひとつのありてこ
そ支へにありき琵琶湖その一

林の木ゆ落ちたることあれば
こそ木登り避けて竿にてとれり

満作の林の実とるに疲るれば守
り林とぞ幾十残せり

葉の落ちて林の実ひときは目立
ちたる鶉の餌食に自然の撰理

皮を剥く手間を省くる酈し林た
やすくてきて味のまたよし

梅の枝のわづかに芽吹く年の暮
れわが家の庭に春を呼ぶがに

青葉どき暫くぶりに降る雨の林
の葉の上のほこり流せり

なかなかに新芽の出でぬ百日紅
ある朝揃ひて芽吹きてをりぬ

梅園の実の生り少なく梅干しの
値の上がるやと人ら語らふ

この夏は我が家の梅も生らずし
て雨の少なき春を羨む

梅の枝にはびこる虫に水をもて
噴射蹴散らし庭を守りぬ

細き枝折れてセロテープ巻きた
れば真紅の薔薇の鉢に咲きたり

漢詩

聽百八鐘聲壽新春

百八の鐘聲を聴き新春を寿ぐ

平起式〔真〕韻

柴田 豊彦 (大16)

●○○●●○○○
●○○●●○○○
●○○●●○○○
●○○●●○○○
●○○●●○○○

(起) 拂除煩惱此迎新
煩惱を払い除いて此に新を迎う

(承) 開歲風和意又純
開歲風和やかにして意又純なり

(転) 自改俗心躬尚健
自ずから改たむ俗心躬尚健なり

(結) 屠蘇一献壽初春
屠蘇の一献初春を寿ぐ

心のまよい
*開歲……年のはじめ
*俗心……世俗の事柄(地位・
金錢等)にあこがれる心

【通釈】
(百八の) 煩惱を払い除き、
ここに新年を迎えた。元旦の風
は和やかで、気持ちも純粹な
ものとなる。自然と凡人の心情は
洗われ、身体も健やかに感じら
れる。屠蘇の一杯で初春を祝つ
た。

鶉鴒憶阿弟

鶉鴒に阿弟を憶う

仄起式〔青〕韻

木戸 彪 (大16)

●○○●●○○○
●○○●●○○○
●○○●●○○○
●○○●●○○○
●○○●●○○○

日暮清風花蕊馨
鶉鴒忽下草庵渟
鶉鴒 忽ち下る 草庵の渟

今宵阿弟思千里
今宵阿弟 千里を思う

夜雨與君何處聽
夜雨 君と與に 何れの処に
か聴かん

【語彙説明】
☆鶉鴒…野鳥のセキレイ、兄弟
(の情)に喩える「脊令在原…
詩経・小雅より」↓《鶉原之
情》

☆陰風…冬の風、北風

☆花蕊…はなのシベ
☆馨…かおる、かぐわしい
☆草庵…いおり
☆渟…水たまり
☆阿弟…おとうと、「阿」は親
しみをこめて呼ぶ謂い

☆夜雨対…夜の雨の音を聞きな
がら、寝台を並べて寝る兄弟
の親しさの謂いで、蘇軾の夜
雨對牀の句を踏む

【詩意】
北風の吹く夕暮れ、山茶花の
香りがかぐわしい。折りしも突
然、つがいの鶉鴒が我が家の水
たまりへ飛んできた。セキレイ
という鳥は兄弟仲の良い鳥だ
と、以前何かで読んだ記憶があ
るが、今宵、弟は遠くに在る自
分の事を思っているだろうか。
しかし今は、枕を並べて雨の音
を聞きながら、仲良く語り合え
るのは一体何処の土地でかなう
ことだろう。



伊吹山遠望

産経新聞社

代表取締役社長 飯塚 浩彦 (大29回)



〒100-8077 東京都千代田区大手町 1-7-2
ダイヤルイン 03-3231-5946 F A X 03-3275-8304
E-mail : h.iizuka@sankei.co.jp

購読申し込みはこちらで



「神保町ミロンガ」F4号 水彩 「みなとみらい21」F15号 油彩

山崎 竹夫 (大19)

滋野 輝彦 (大17)

定年退職後、街歩きや歴史散歩も兼ねて風景水彩スケッチ教室に入りました。

既に6年が経過し、描いた絵も東京都内や横浜、千葉の街並み、建物、橋、公園など3000点を超えました。

今回の絵は神田神保町の裏路地を描いたものです。ご存知のように「ミロンガ」「ラドリオ」「さぼる」など昭和レトロの喫茶店が今でも営業しており、「ミロンガ」ではアルゼンチンタンゴを聞きながらコーヒータンゴを飲んで暫し学生時代にタイムスリップできます。

市内の中心部と横浜港に面したところに1980年から現在にかけて、整備が進行中の計画年です。私もこの年代に家族とともに、横浜に移り住み街の変貌ぶりを身近に見てまいりました。白を基調にした建物、緑豊かな街路、等々、町、緑、みず、が私の絵心を揺さぶり、水彩、油彩、等多くの作品の題材になりました。これからも未来への変貌振りを追いかけて行きたいと思っております。



皆様に積極的な投稿をしていただき28ページでの発行となりました。暖かいご支援有難うございました。

わが滋賀大学がデータサイエンス学部創設以来、新聞、雑誌などで盛んに取り上げられ、多くの企業との連携も実現し、昨年には大学院データサイエンス研究科が開設され、本年4月には博士後期課程が開設予定となります。ますます発展しております。またその影響もあつてか滋賀大学への受験生の増加数が国公立大学で一番多くなつたなど、前向きなニュースに触れてよる嬉しいかぎりです。

陵水会の幅広い活動に加え、わが陵水会東京支部もホームページの充実や幹事3年制などの新しい取り組みや、多くの新入会員の参加など、一段と活発になつてきており、力強い限りです。

本「東京陵水」の編集部員も力を合わせて、これらの動きを支えられるように努力してまいります。引き続き皆様のご支援を期待しております。

(T)

編集室 所感

令和元年度東京支部年会費ご納付ありがとうございました。

令和元年11月15日現在

飯^大5 山 箸 樋 竹 佐 粕 今^大4 増 中 清^大3 水 新 柴 岡^大2 川^大1 保 西 加 岡^本24 松 前^本23 箕 橋^本22 豊 竹 鈴 犬^本21 葛^本20 高 小^本19 山^本16
鳥 中 方 上 内 々 瀨 井 田 川 水 引 宮 田 田 本 正 澤 納 田 本 川 浦 本 田 内 木 塚 上 木 原 口
英 海 不 鋭 次 健 常 茂 弥 善 芳 茂 淳 彌 弘 政 登 昌 宗 克 敏
勲 一 三 子 二 郎 三 清 樹 次 和 雄 毅 夫 巖 茂 保 正 司 浩 義 祐 正 侃 毅 郎 喜 一 郎 幸 滋 美

並 刀 滝 小 大 尾 池 池^大8 東 西 鈴 佐 木 浦 磯^大7 三 藤 久 林 橋 中 田 高 児 草 北 川 河 岡^大6 三 中 樋 中 龍 神 岡 井
川 館 川 森 島 本 田 田 野 野 木 野 下 谷 部 宅 原 木 謙 本 村 中 橋 島 生 川 村 合 田 谷 保 井 宿 井 西 上 川 口 谷 田 上
信 雅 清 明 政 弘 辰 和 重 政 一 義 多 義 次 長 博 秀 正 知 春 和 正 毅 義 隆 正 三 泰 郁 秀 和 明
淳 雄 一 美 美 二 孝 彦 弘 宏 成 了 實 夫 郎 男 雄 雄 郎 夫 一 実 治 次 治 夫 男 紀 亨 夫 雄 靖 弘 勝 一 功 三 夫 亨 義 郎

守 奥 稲^大12 松 松 法 長 野 関 黒 川 川^大11 山 細 服 島 中 中 坪 佐 大 白 石 井^大10 吉 山 乘 藤 平 西 西 中 森 田^大9 安 松 松 林 浜
谷 村 邑 本 浦 橋 村 色 沢 北 合 野 田 谷 部 山 村 川 田 藤 村 井 垣 上 田 本 富 本 瀬 田 坂 島 本 川 田 岡 浦 崎
貞 啓 明 隆 紀 正 秀 公 恵 日 直 久 正 全 義 壽 寿 清 秀 善 孝 俊 裕 武 廣 徹 勝 忠 行 一 健 幸 史 守
夫 一 也 一 雄 虎 夫 平 文 男 行 嗣 保 進 孝 孝 生 男 一 六 孝 昇 健 康 隆 弘 之 二 郎 明 彦 雄 司 德 雄 雄 雄 作 欣 三

藤 富 鶴 柘 鈴 黒 木 北 奥 大 海 龜^大15 丸 古 羽 中 土 清 古 北 加 小 石 天^大14 若 吉 星 納 中 德 西 近 小 岡 朝^大13 宮 堀 堀 平 田 角
井 田 見 野 木 田 下 村 村 澤 老 山 居 川 淵 村 井 水 山 村 藤 口 田 木 山 田 出 堂 村 地 藤 藤 林 崎 奈 野 川 内 居 村 田
駿 博 芳 茂 悦 英 正 勇 義 祥 浩 展 健 捷 博 昭 國 久 秀 奎 康 和 達 三 政 冬 幸 幸 俊 寿 孝
治 司 令 樹 勝 司 男 和 雄 隆 洋 夫 裕 司 也 弘 郎 叡 郎 徹 善 晃 郎 夫 忠 典 潔 樹 吾 之 弘 也 郎 義 男 雄 夫 和 雄 夫 司

岡^大19 村 西 德 千 高 小 栗 北 喜 兼 小 岡 岡 今 市^大18 山 西 並 中 中 柘 聖 柴 滋 栗 蔵 川 岡 池^大17 渡 浜 柴 木 木 尾^大16 吉 山 前 細
瀨 川 山 葉 居 梶 原 居 田 松 倉 本 田 津 岡 本 尾 河 根 川 成 原 野 林 田 崎 本 谷 辺 口 田 戸 津 関 田 本 田 江
廣 尚 清 秀 建 清 喜 和 峯 泰 好 文 憲 松 隆 節 郁 日 昌 瓊 治 崇 良 輝 昭 憲 和 吉 雅 榮 豊 勝 一 勇 哲 謨
司 文 悟 雄 茂 二 司 次 夫 幸 男 博 夫 治 男 治 夫 夫 男 孝 一 三 夫 昭 彦 昭 憲 夫 之 人 利 治 彦 彪 治 平 夫 保 顕 夫

石^大21 堀 福 平 浜 河 上 植 上 岩 持 農 角 竹 田 蔵 青^大20 吉 村 宮 水 松 濱 土 戸 寺 竹 田 芝 小 門 小 伊 和 山 平 林 西 西 永 中 柴
川 尾 原 井 野 原 野 田 田 谷 田 守 田 本 中 木 延 上 川 田 野 井 田 井 森 邊 田 山 平 野 藤 田 崎 田 村 澤 田 村 田
公 重 善 信 正 恵 兼 克 春 義 健 進 二 美 秀 伸 澄 筆 利 保 与 二 隆 久 孝 孝 博 博 竹 雅 穂 弘 達 吉
一 雄 隆 三 裕 喜 三 司 求 敏 夫 文 一 一 郎 彰 憲 明 等 誠 寛 男 治 明 延 雄 郎 徹 行 照 郎 史 邦 之 夫 章 学 積 行 修 夫 典

平 野 近 鯉 金 大 若 山 堀 深 深 西 中 玉 玉 棚 田 品 岸 稲^大23 山 山 玉 小 山 能 西 清 北 川^大22 脇 米 柳 吉 山 細 藤 上 飯 森 細 植
本 村 藤 江 森 矢 林 本 江 谷 尾 以 岡 置 井 橋 口 川 上 波 脇 代 村 林 田 島 山 水 野 分 阪 山 瀬 川 下 井 野 田 田 口 川 野
義 勝 典 寿 武 正 慎 靖 秀 久 浩 辰 達 良 悦 和 信 一 真 利 忠 伸 正 敏 啓 常 光 勝 富 義 文 修 為 克
則 良 修 之 雄 史 寛 裕 一 純 利 夫 三 司 也 稔 三 夫 夫 一 泰 行 廣 志 忠 夫 志 卓 彦 史 守 修 二 洋 司 雄 男 雄 潔 逸 馬 美

重 稲 畑 近 高 京 上 川 夏 高 長 大^大26 岡 安 藤 濱 高 楠 川 福 山 永 中 田 石^大25 中 味 松 齊 河 仙 湧 本 濱 德 田 加 奥 一^大24 松 堀
田 住 澤 森 見 極 林 勝 目 瀬 北 本 井 岡 塚 橋 田 久 田 本 田 村 村 黒 川 田 永 藤 江 田 川 田 保 山 中 藤 村 円 田 内
敏 彦 政 政 好 弘 忠 誠 幸 喜 正 純 康 芳 保 康 哲 雅 弘 俊 和 耕 美 裕 泰 修 勝 吉 晃 恒 雅 淳 正 治
博 均 之 義 史 好 一 之 彦 豊 次 亨 博 重 之 一 彦 弘 勉 夫 治 典 勝 昭 郎 彦 二 弘 士 平 三 已 弘 夫 均 男 之 一 之 久 裕

中中坂片山西熊吉鈴緒浅^大29馬服中和宮西中桑奥岡吉森日野篠小木大^大28野土藤杉小柏大足溝神木岩^大27
 野西根山本森澤本木方見 場部森田崎川野島田野永 野村田杉元野 田田澤本松木村立口田戸崎
 達健 妙裕和寿準教俊 敬 基 吉元克英慶茂純 正喜 祐誠光 欣秀芳利利 義浩信憲博博
 也二徹子之善夫一義輔徹 夫修雄彰史啓廣彰一樹明徹教郎亨司剛宏 二仁郎彦央勝朗次悟樹文之

水斜酒居^大32藤中宮舟野難関杉四堀福西仲正相^大31松武山宗中鮫山村藤丹清神浅吉横目野島大磯^大30飯牧
 上木井田 井村崎橋村波 野方内田田秋面本 本田本友村島口上坂羽水谷野田江堅村田江野 塚野
 康克康幸 幸哲真浩正雅省 徳政雅順民 吉嘉輝浩寛義雅祐康 佳卓繁正浩孝^大治大康和 浩
 弘彦就伸 登均平夫一明嗣哉吾智美夫史久男 幹史明夫一行明洋宏之正伸也喜行久郎輔浩也 彦武

原^大39北松吉岸竹^大38水小放永高河荒藤^大37小天^大36志能西新^大35小梅横桂岡島一加^大34西清北今^大33青柳田白岩
 川澤見野村 谷川示瀬木合井井 川野 賀登野海 山岡山田武津丸藤 野塚野田 山 邨鳥田
 昌 昭正信 享 重敦尚克佳 文 康英智秀 真敦秀和俊泰眞 忠 英 雅弘幸雄
 弘 樹進彦史克 俊泰樹彦久典伸雅 子優 仁彦寛也 示司利也雄幸信篤 宏徳明淳 登二樹和一

平山岡秋^大51徳^大50山^大49三上山山^大48越中^大47清^大46三森上北上^大45吉^大44久熊^大43上^大42畑梅^大41塚立塩木^大40蒔大堀芦
 岡村山 川 本 嶋田本崎 智原 水 橋下野尾辻 村 嶋谷 田 瀬本 本木見村 田園江谷
 大真和直 喜 和 洋伸理 道智 康 典玲忠聡威 慎 淳嘉 英雅 正賢 研 英祥俊耕
 輔士哉登 則 史 平吾恵優 夫子 雅 行香孝子司 吾 嗣人 修 樹春 幸一賢介 一郎一雄司

大^大4今^大4高^大19寄^大付^大金^大提^大供^大者^大院^大42院^大33中^大28日^大9短^大5清^大篠^大66馬^大65市^大64池^大丹^大63片^大62秋^大中^大58松^大57藤^大56増^大54梅^大松^大53脇^大52
 測 井 木 瑛 野 林 高 澤 水 田 場 橋 田 羽 山 山村 田 原 森 田 江
 健 常 克 子 里 裕 信 勝 大 有 翔 貴 伸 裕 友 鮎 慎 由 拓 祐 大 昌
 三 清 幸 子 枝 詞 次 郎 貴 季 希 太 紀 茂 太 歌 未 佑 子 馬 貴 子 輔 之

大^大池^大63原^大39大^大39天^大36能^大35中^大29森^大28小^大27木^大27山^大23山^大22北^大22山^大21農^大20田^大19小^大19小^大19吉^大9平^大9乘^大9
 田 園 野 登 野 松 戸 本 代 野 下 守 辺 山 野 田 瀬 富
 貴 祥 英 達 利 博 正 真 敏 勝 義 久 孝 武 俊
 紀 弘 一 優 彦 也 徹 央 文 裕 佐 行 彦 司 文 徹 照 史 弘 明 二

年会費の納入方法について

- ・今年度から支部年会費の納入に【郵便振込】と新たに【コンビニ振込
またはクレジット支払】が利用できます。
- ・『郵便振込票』と『コンビニ／クレジット兼用振込票』が同封されて
いますので、いずれかの振込票をご利用下さい。
- ・詳しくは『コンビニ／クレジット兼用振込票』のご案内を参照頂くよ
うお願い致します。

エレベーター等、輸送機械の営業、設計、製造、据付
保守サービス、モダニゼーションに関する全業務



守谷エレベーター

ISO9001 認証取得

守谷輸送機工業株式会社

代表取締役社長 守谷 貞夫(大12回)
田村 寿夫(大12回)

本社・第一工場 〒236-0004 横浜市金沢区福浦1-14-9 TEL(045)785-3111 FAX(045)780-1881
テクニカルセンター 〒236-0004 横浜市金沢区福浦2-15-1 TEL(045)785-3120 FAX(045)785-6420
東京支店 〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-12-8八丁堀SFビル7F TEL(03)6228-3460 FAX(03)6228-3350
大阪支店 福岡支店 宇都宮工場 名古屋支店 埼玉事務所 京葉事務所 札幌出張所 上海守谷電梯有限公司

駐車場の総合コンサルティング

NPD 日本駐車場開発株式会社

(東証一部上場 証券コード2353)

東京都千代田区丸の内1丁目5番1号 新丸ノ内ビルディング

〒100-6510 電話 03-3218-1900

ホームページ <http://www.n-p-d.co.jp/>

取締役副社長 川村 憲司(大37回)

自然・お客様・地域社会の“HAPPY”を創出

NSD 日本スキー場開発株式会社

(東証マザーズ上場 証券コード6040)

白馬八方尾根スキー場 白馬岩岳スノーフィールド 柵池高原スキー場
鹿島槍スキー場 北志賀高原電王スキーパーク 菅平高原スノーリゾート
川場スキー場 めいほうスキー場

本社 〒399-9301 長野県北安曇郡白馬村大字北城 6329-1

ホームページ <https://www.nippon-ski.jp/>

取締役 川村 憲司(大37回)

発行所
〒236-0004
横浜市金沢区福浦1-14-9
守谷輸送機工業(株内)
陵水会東京支部 支部長 竹森二郎
電話045(785) 3716
印刷所
〒110-0015
東京都台東区東上野1-28-3
船舶印刷(株)
電話03(3831) 4181

林 史欣(大8回)
〒164-0014
中野区南台2-15-10
(TEL・FAXとも)
03(3381) 4431
※編集室のメールアドレスは
hysckys@nifty.com
(次号分々切日十月末日)

「会報」原稿・情報「送付先

陵水会東京支部

ホームページ
アドレス



<http://m-p-o.co.jp/tokyoryosui/>